



島牧村の公共交通をより良くするためのアンケート調査
【集計結果】

令和3年12月23日

1. 調査概要

(1) 調査目的

島牧民の移動実態（生活圏や移動頻度、移動時間帯など）や今後の運転移行や公共交通に対するニーズから移動困難者の把握を目的に調査を実施する。調査結果を地区別や個人属性別で集計を行うことで、地区ごとに異なるニーズの明確化や真に公共交通を必要としているターゲット層を把握する。

(2) 調査対象

15歳以上の島牧村居住者

(3) 調査方法

全世帯に対して配布・郵送回収により、調査を実施

- ・配布世帯数：700世帯
- ・配布日：令和3年10月5日
- ・回収数：439票（回収率：62.7%）

(4) 調査項目

1) 個人属性

- ・性別
- ・年齢
- ・職業
- ・居住地
- ・免許・自動車の保有状況
- ・自動車運転困難となった場合の移動手段
- ・運転免許返納後の困難となる目的

2) 日常的な外出行動について

- ・外出の移動で最も困っていること
- ・困っていることが解消された場合の外出頻度向上
- ・外出頻度(買い物・通院・私用)
- ・目的先(買い物・通院・私用)
- ・交通手段(買い物・通院・私用)
- ・目的先へ行く時間帯(買い物・通院・私用)
- ・目的先から帰る時間帯(買い物・通院・私用)
- ・冬の移動手段の変化
- ・路線バス（島牧線）・ハイヤーの利用頻度

3) 公共交通に対する考え方

- ・路線バス（島牧線）の満足度
- ・代替バスの認知度
- ・代替バスの有料化について
- ・代替バスの予約制について
- ・今後のハイヤー利用の可能性
- ・ハイヤーを利用した際の利用目的

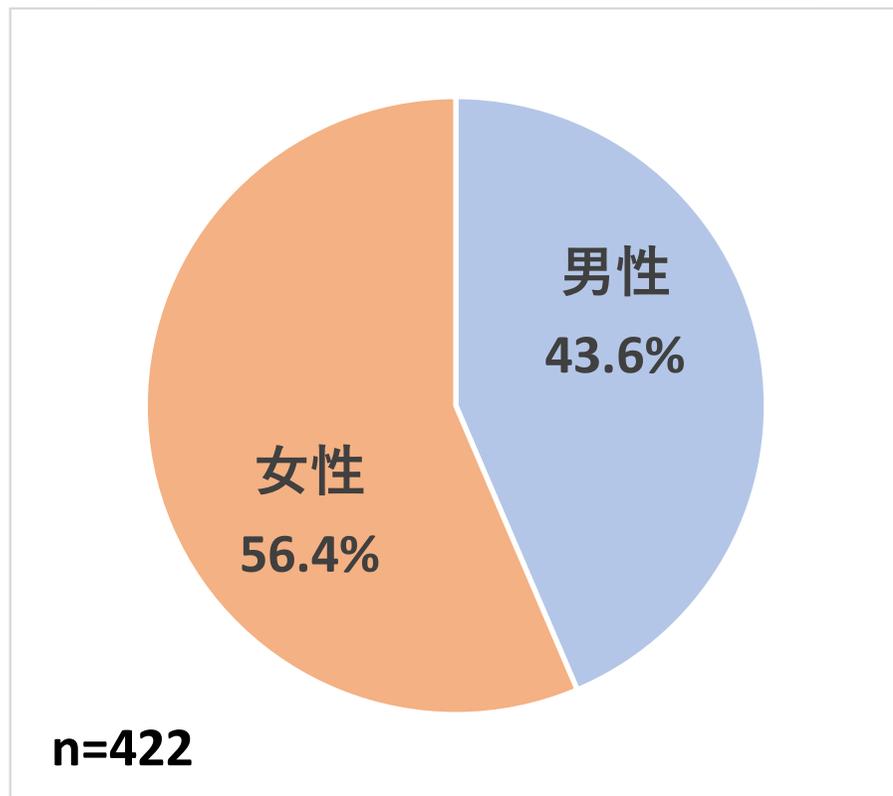
(5) 集計方法

※グラフの「nの値」は回答の総数を指し、無回答や無効回答などは除いた数。

2. 分析結果 / 1 個人属性

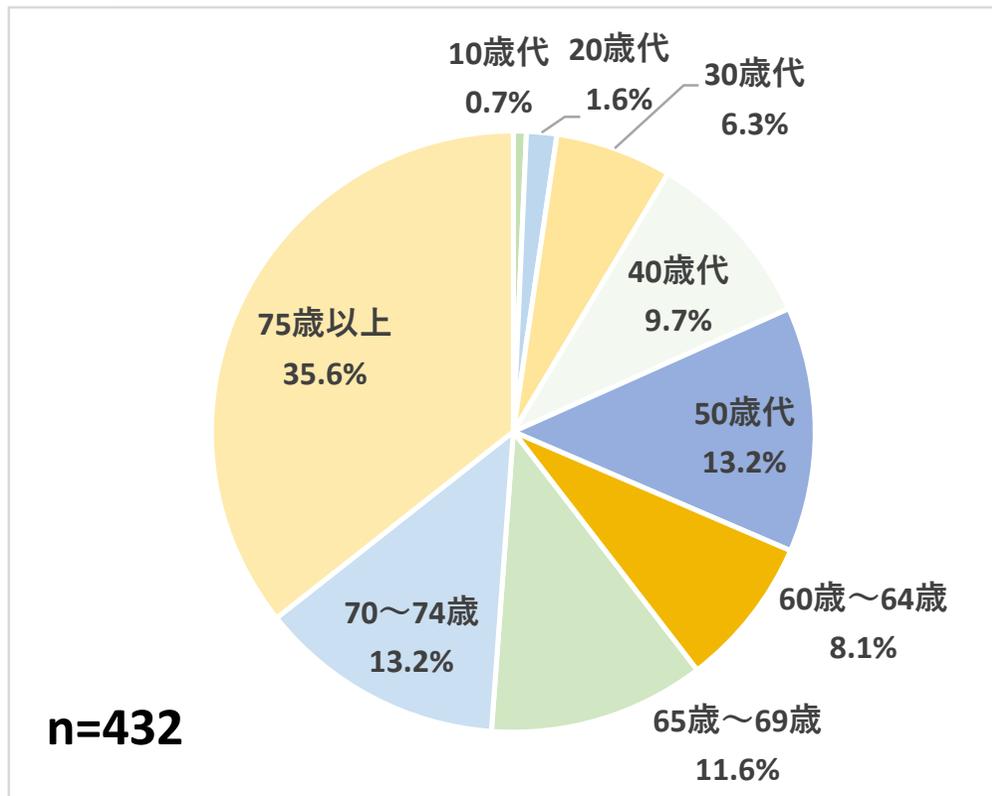
問1①性別

回答者の性別、男性(43.6%)、女性(56.4%)となっている。



問1②年齢

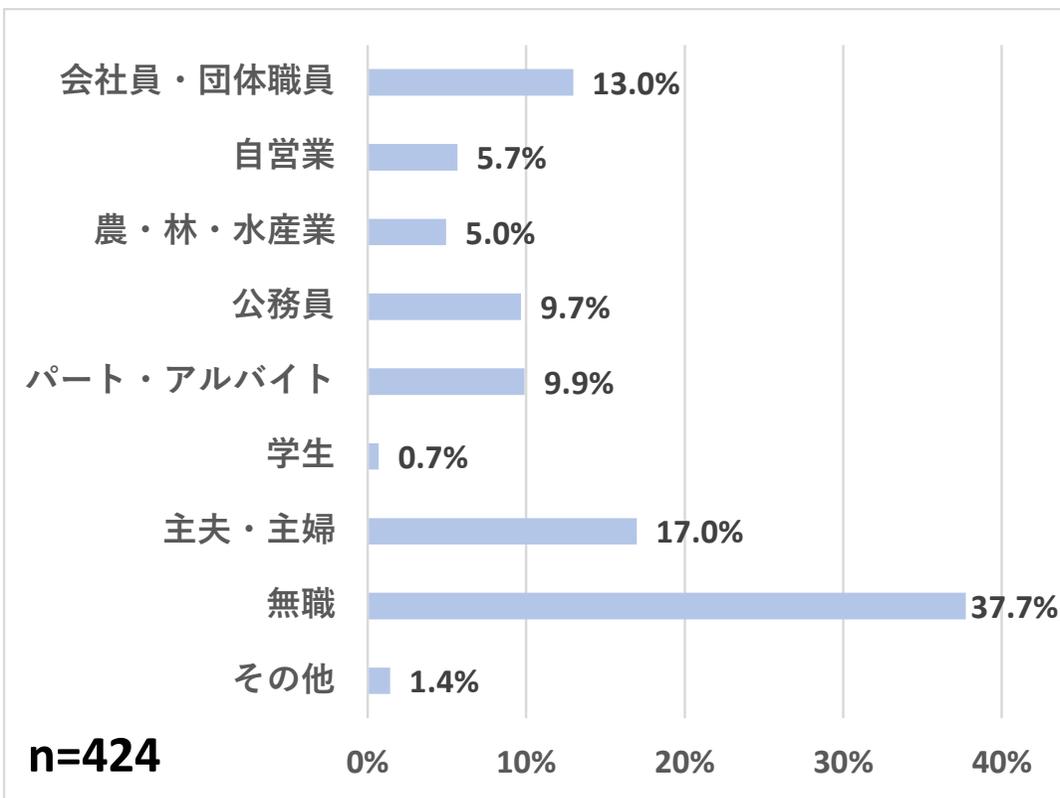
回答者の年齢は、75歳以上(35.6%)が最も多く、70~74歳(13.2%)、50歳代(13.2%)が続く。



2. 分析結果／問1 個人属性

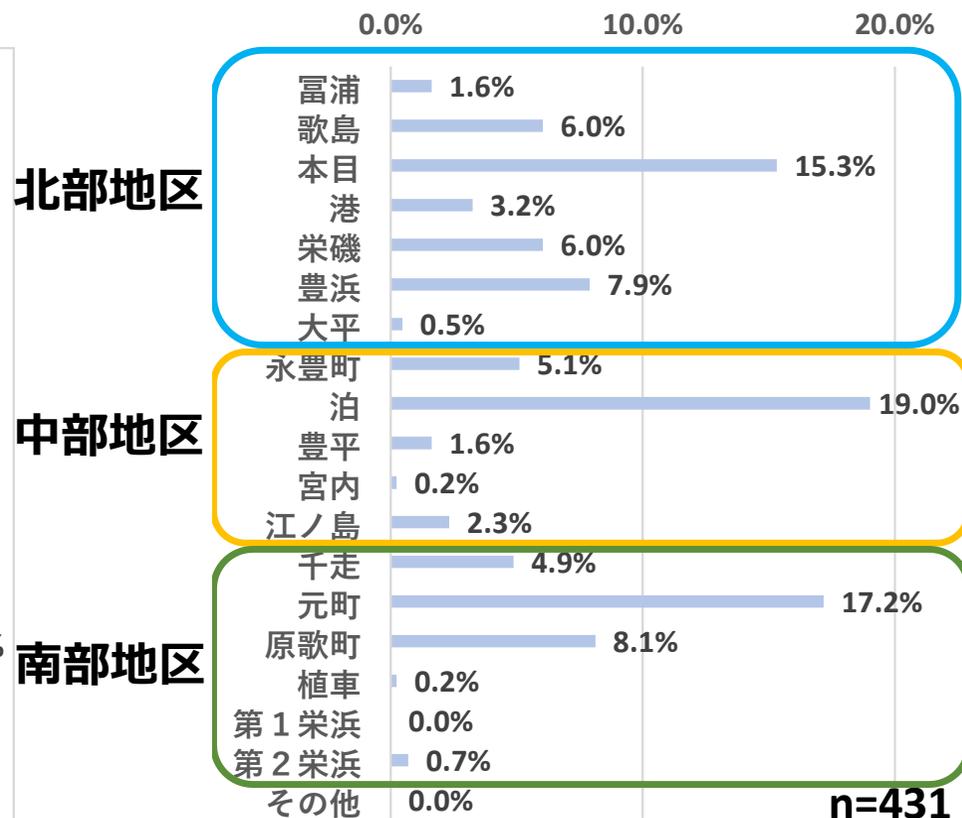
問2 職業

回答者の職業は、無職（37.7%）が最も多く、主夫・主婦（17.0%）、会社員・団体職員（13.0%）と続く



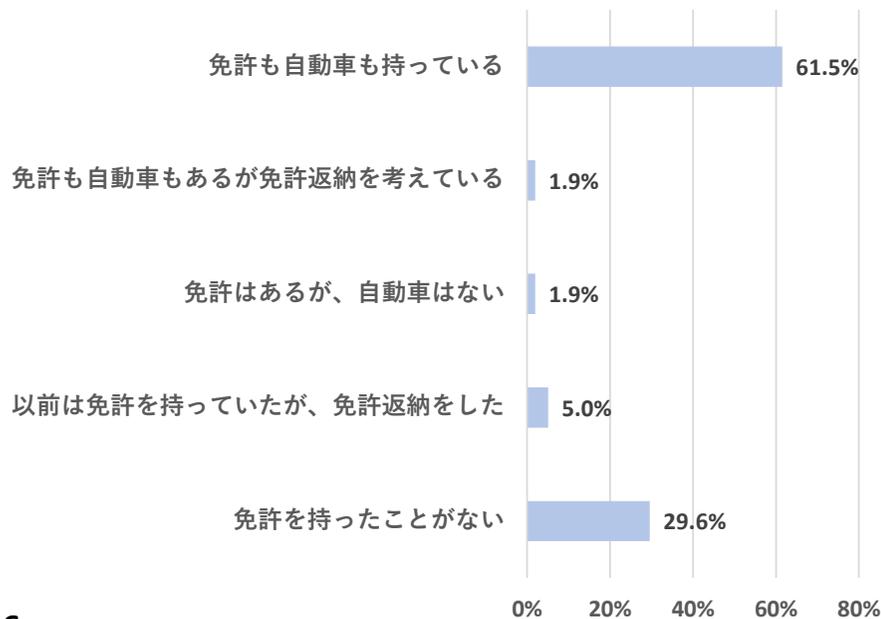
問3 居住地

回答者の居住地は、多い順に北部地区（40.1%）、南部地区（33.4%）と続く



問4 免許と自動車の保有状況

免許と自動車の保有状況は、免許も自動車も持っている（61.5%）という回答が最も多く、免許を持ったことがない（29.6%）が続く

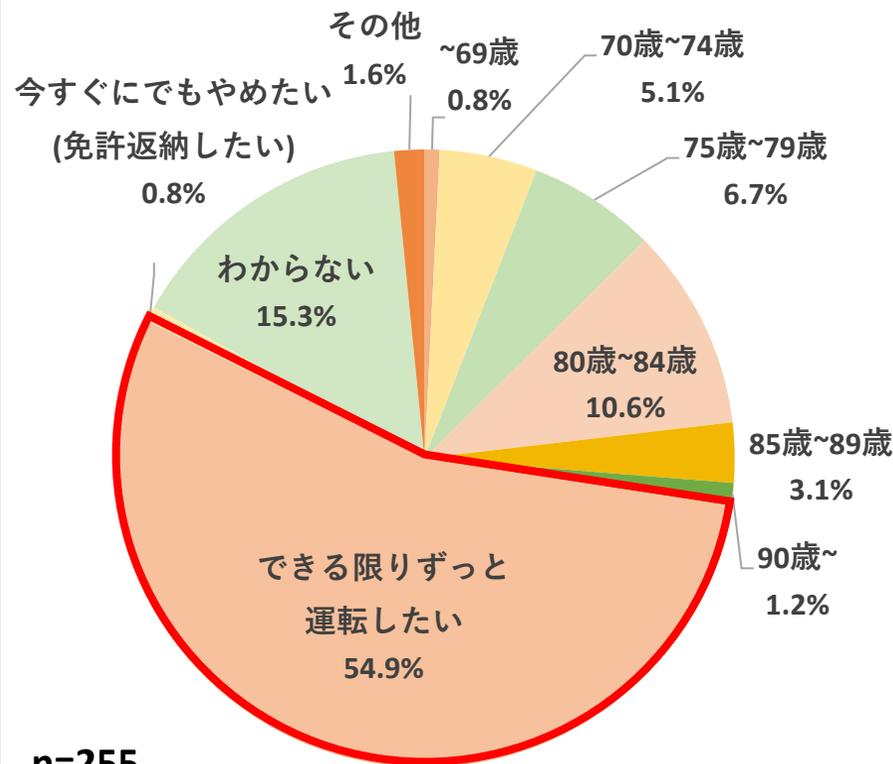


n=416

問5 何歳まで運転をしたいか

※問4免許も自動車も持っている者のみ回答

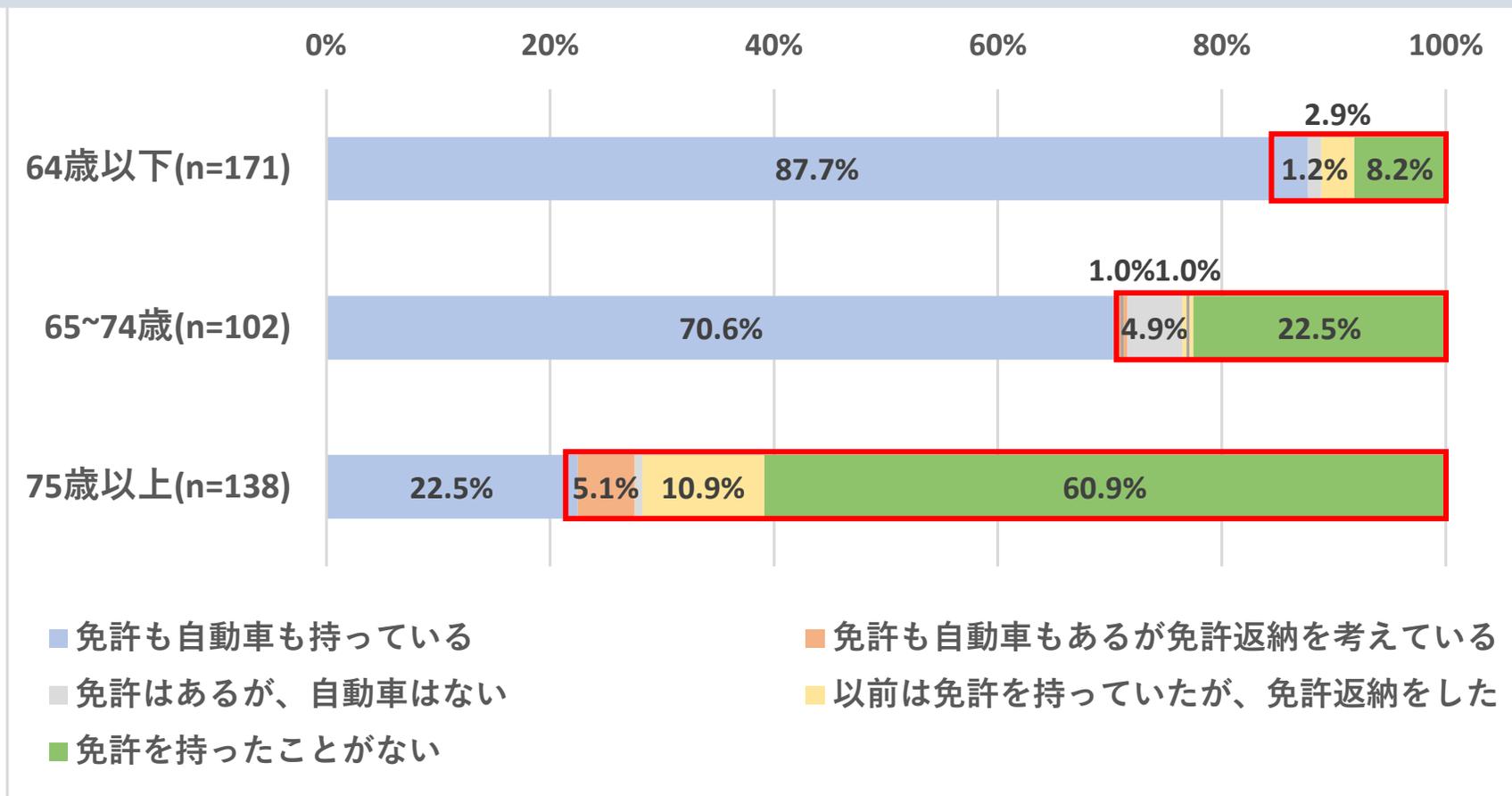
何歳まで運転したいかについては、できる限りずっと運転したい（54.9%）が最も多く、わからない（15.3%）、80~84歳（10.6%）が続く



n=255

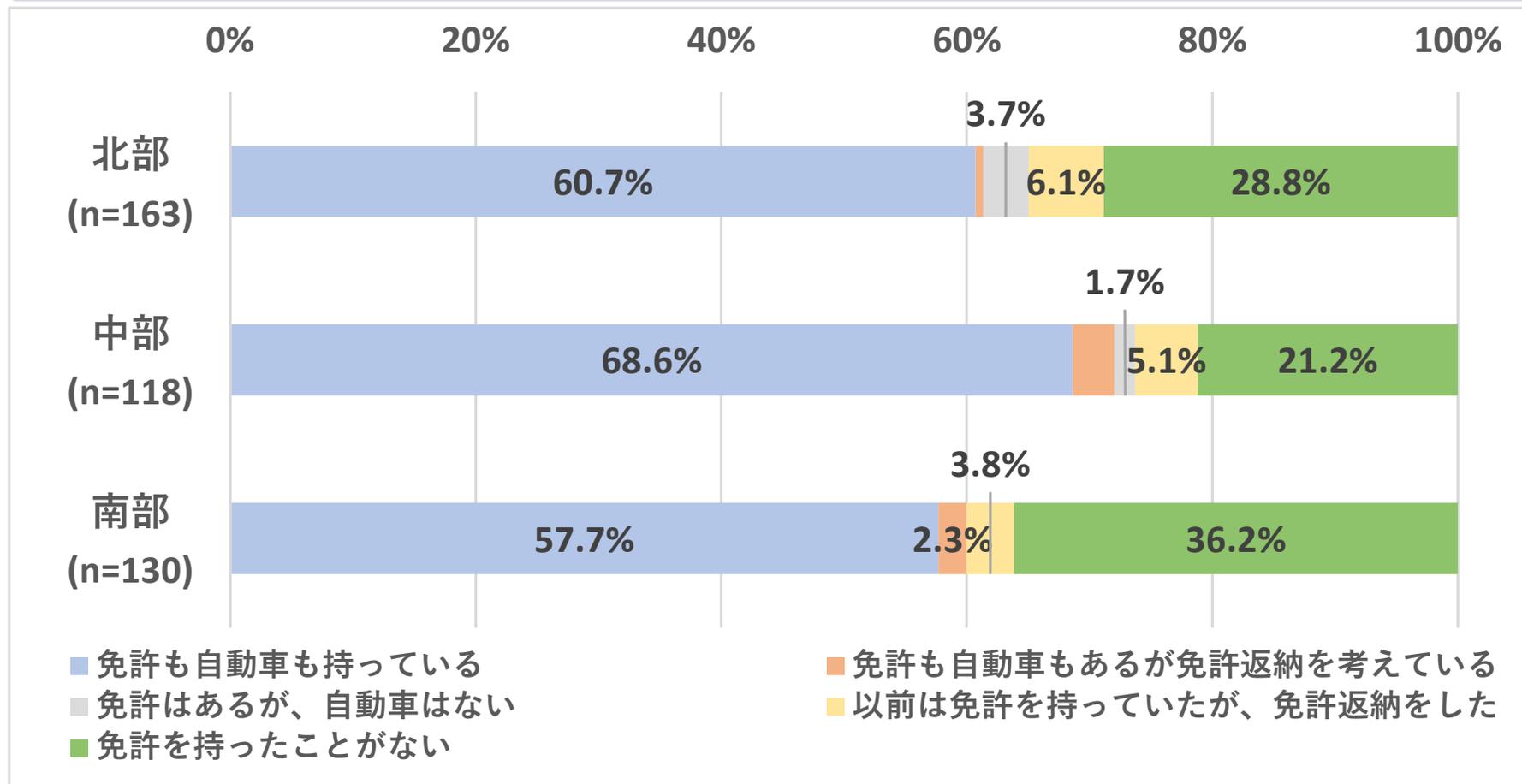
問1②×問4 年齢別免許・自動車の保有状況

年齢別の自動車の保有・利用状況を見ると、65歳以上では**年齢が高くなるにつれ、自動車の保持率も免許の保持率も低くなっている**。また、高齢になるほど免許返納をしている割合も高い。他にも、75歳以上では免許を持ったことがないと答えた方が約6割いる。



問3×問4 居住地別免許・自動車の保有状況

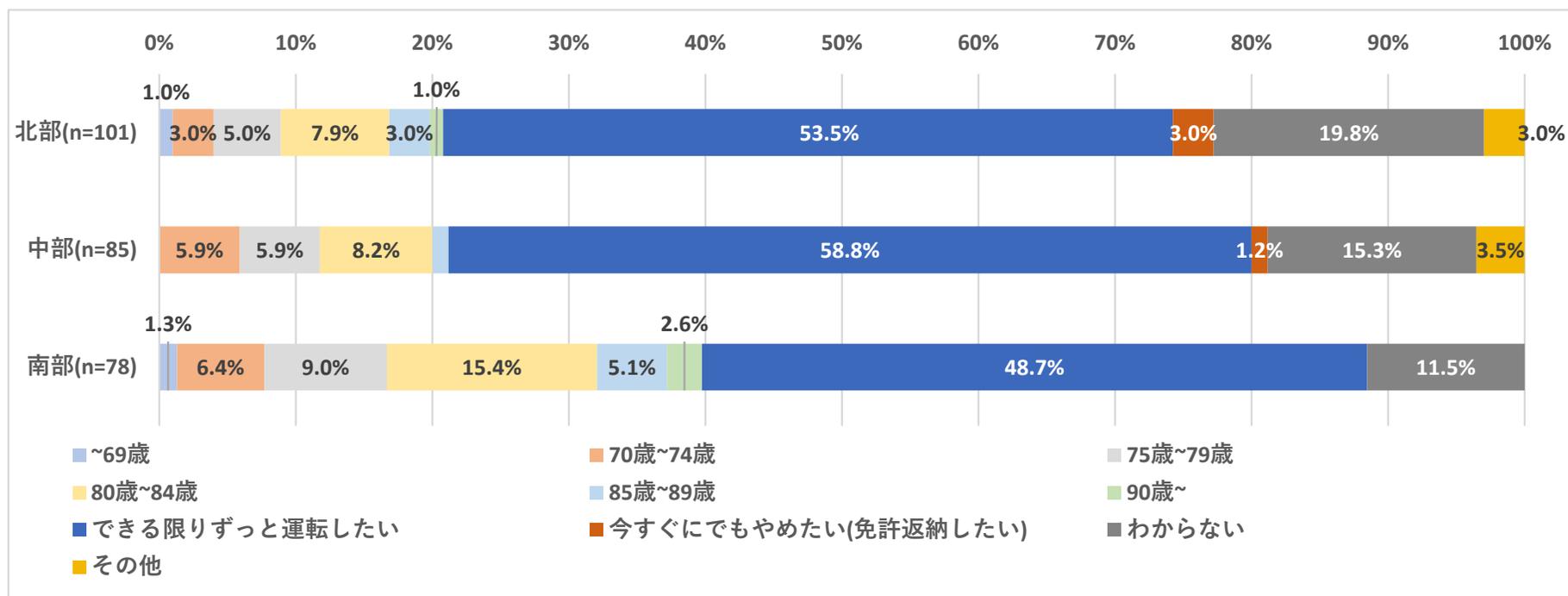
居住地別の自動車の保有・利用状況を見ると、中部地区は約7割が免許も自動車も持っていると答えた。また、南部地区は免許を持っていたことがないと答えた割合が比較的高かった。



2. 分析結果／問1 個人属性

問3×問5 居住地別今後の運転意向 ※問4免許も自動車も持っている者のみ回答

居住地別の自動車の今後の運転意向を見ると、南部地区では今すぐにでもやめたいと答えた人がいなかったが、できる限りずっと運転したいと答えた割合も比較的lowく、89歳以下を目安に免許返納を考えている割合が約35%を占めている。

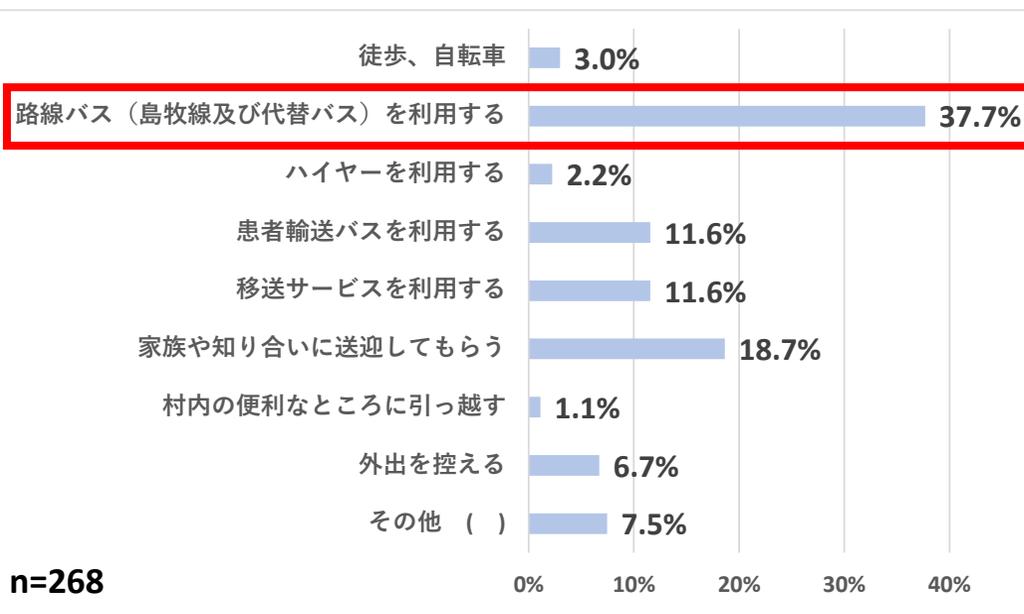


2. 分析結果／問1 個人属性

問6 運転が困難になった場合の移動手段

※問4免許も自動車も持っている者のみ回答

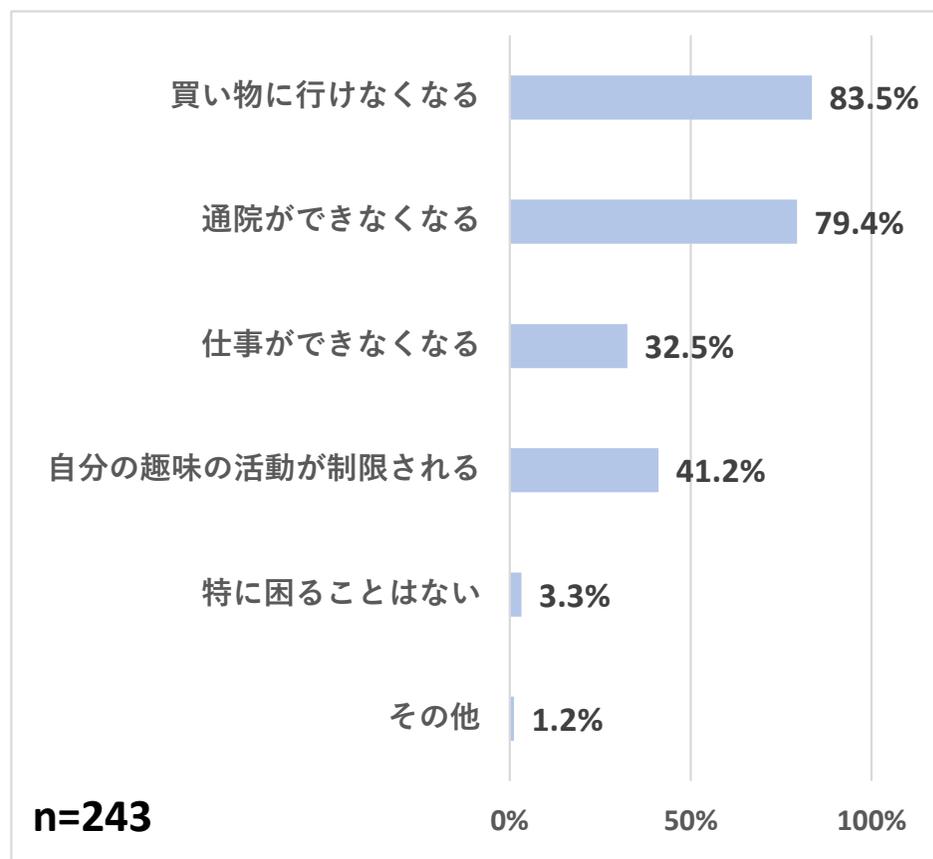
運転が困難になった場合は**路線バスを利用する**という回答(37.7%)が多く、次に家族や知り合いに送迎してもらう(18.7%)が続く



問7 免許を返納したときに困ること

※問4免許も自動車も持っている者のみ回答

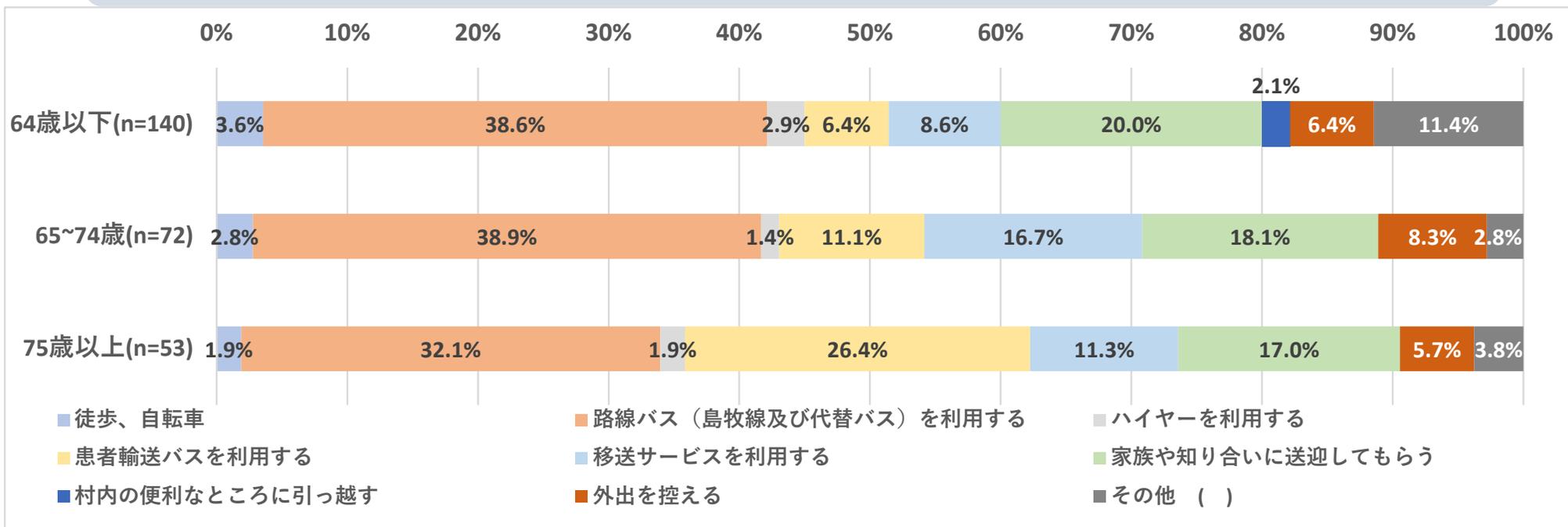
免許を返納した際に困る事として、買い物に行けなくなる(83.5%)、通院が出来なくなる(79.4%)が多くを占めた。



問1②×問6 年齢別の運転が困難になった場合の移動手段

※問4免許も自動車も持っている者のみ回答

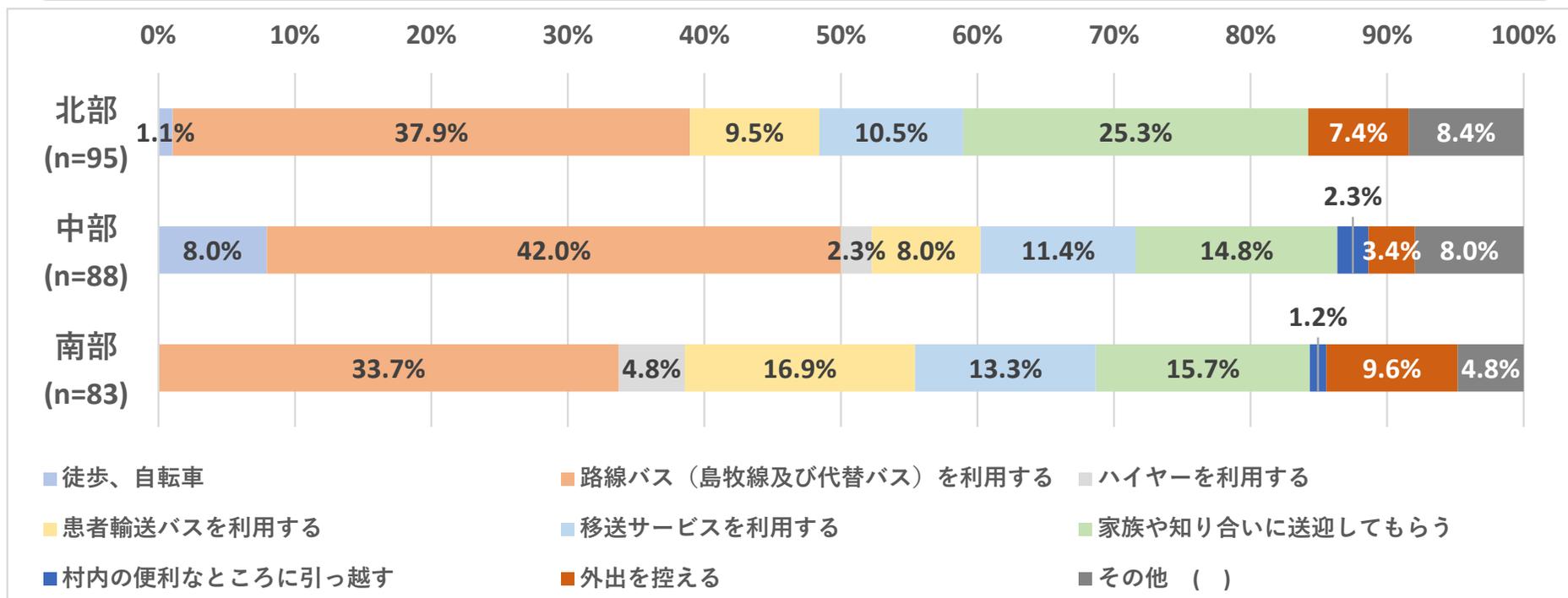
年齢別の免許返納後の移動手段を見ると、どの世代でも路線バスを利用すると答えた割合が一番高かった。また、患者輸送バスを利用すると答えた割合が年齢が増すごとに増加し、徒歩・自転車と答えた割合が年齢が増すごとに減少した。また、引っ越すと答えた割合は65歳以上では0%だった。



問3×問6 居住地別の運転が困難になった場合の移動手段

※問4免許も自動車も持っている者のみ回答

居住地別の免許返納後の移動手段を見ると、どの地区でも路線バスを利用すると答えた割合が一番高かった。また、北部地区では家族や知り合いに送迎してもらった割合が比較的高く、南部地区では患者輸送バスを利用すると答えた割合が比較的高かった。中部地区では徒歩・自転車と答えた割合が比較的高くなっている。

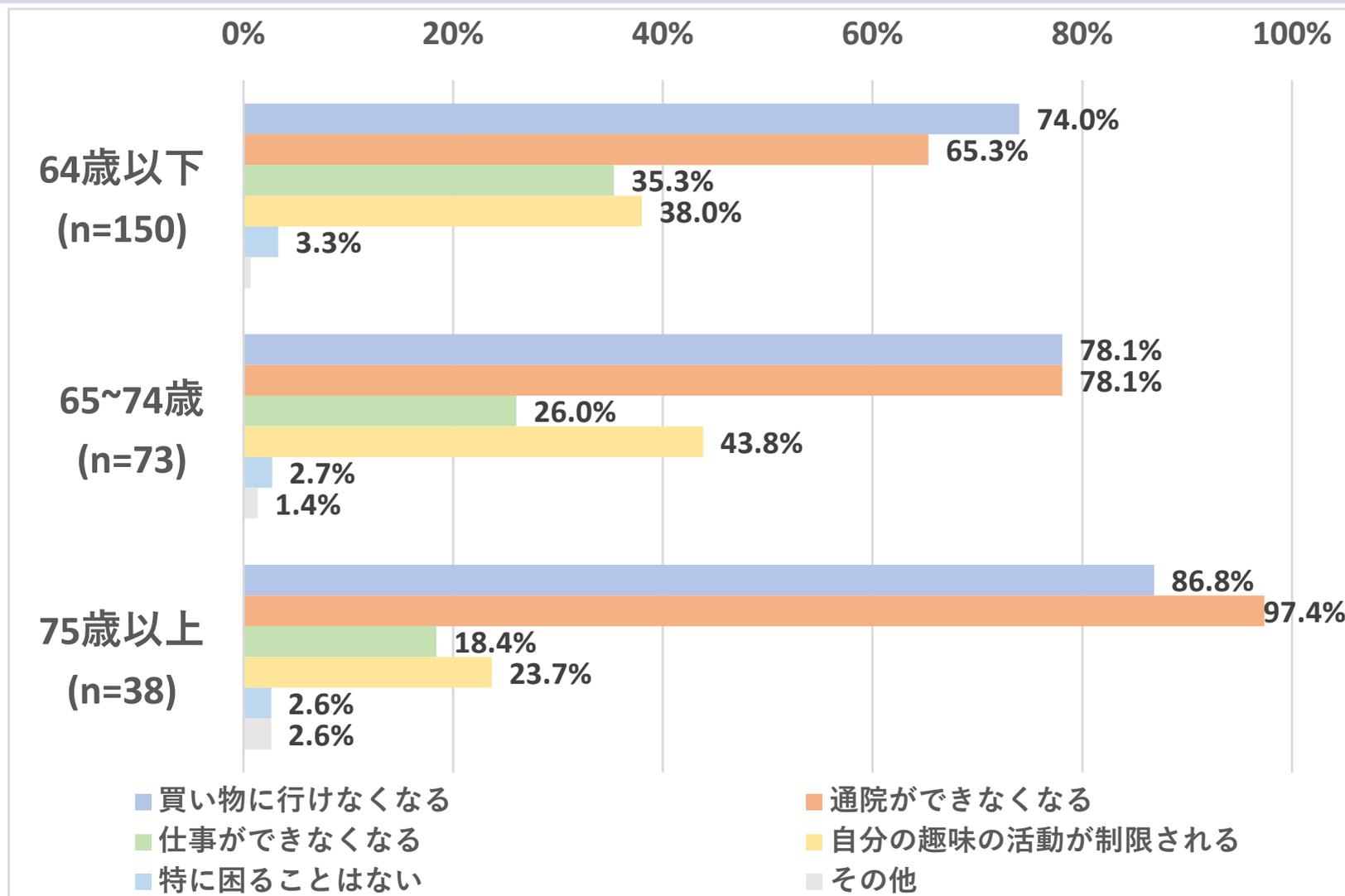


2. 分析結果／問1 個人属性

問1②×問7 年齢別の免許返納後に困ること

※問4免許も自動車も持っている者のみ回答

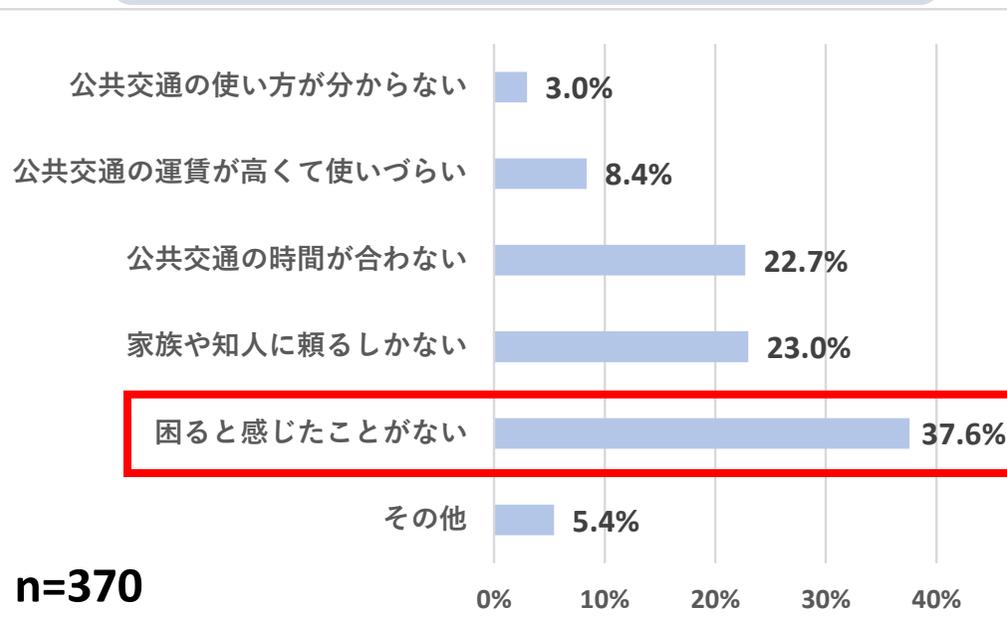
年齢別の免許返納後に困る事については、年齢を経るごとに買い物に行けなくなる、通院できなくなるが増加している。また、75歳以上ではほぼ100%が通院できなくなると答えており、通院に対する支援が必要となっている。



2. 分析結果 / 2 日常的な外出行動

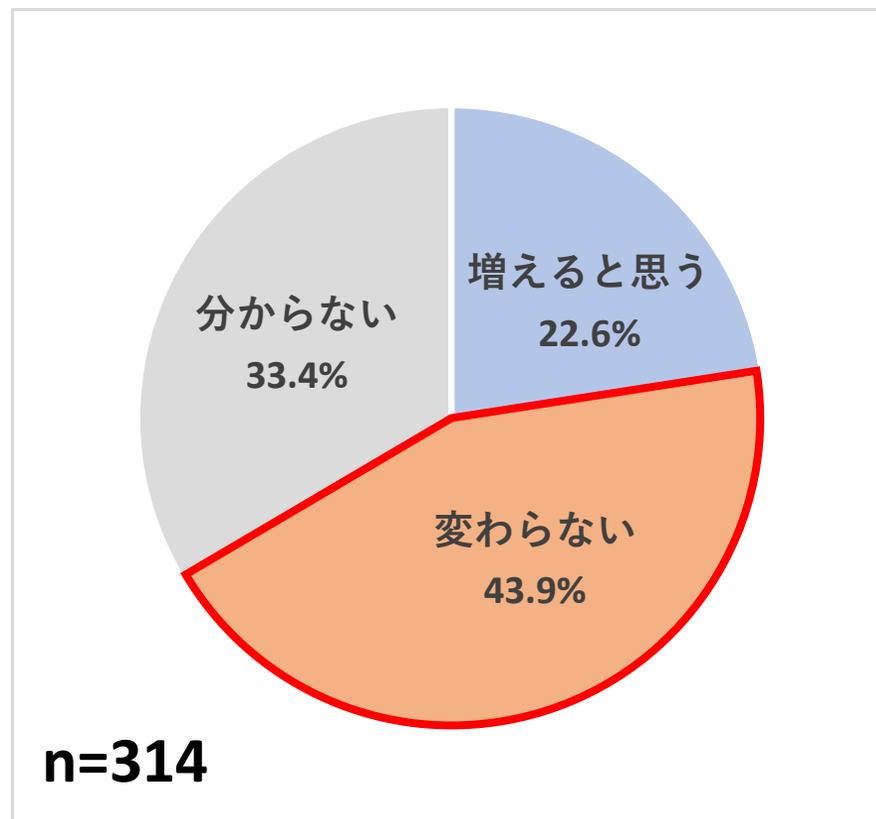
問8① 移動で困っていること

困ると感じたことがないが一番多く(37.6%)、家族や知人に頼るしかない(23.0%)、公共交通の時間が合わない(22.7%)と続く。



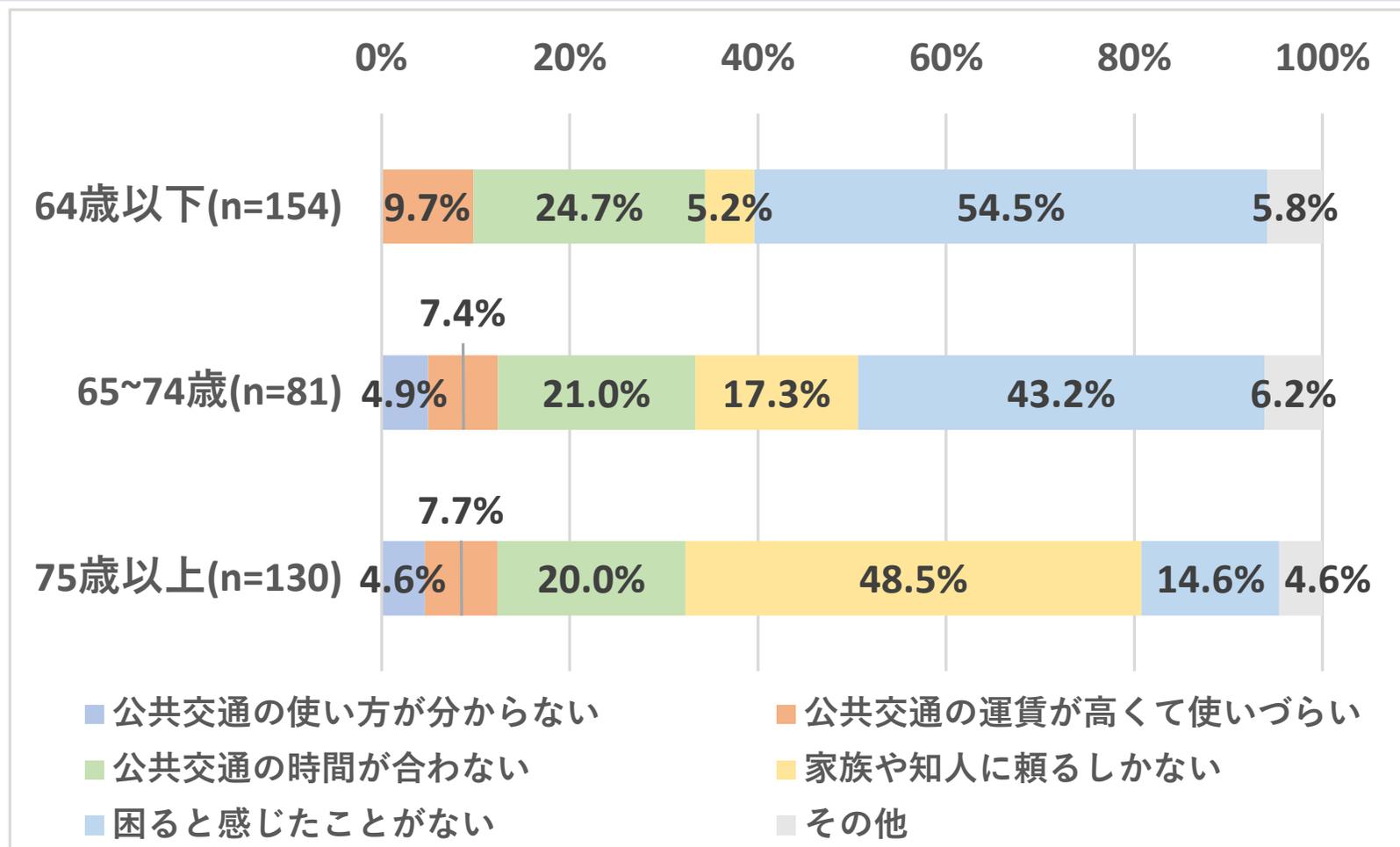
問8② 解消された場合の外出頻度の変化

困っていることが解決しても利用頻度は変わらないと思うと答えた割合が最も多かった(43.9%)



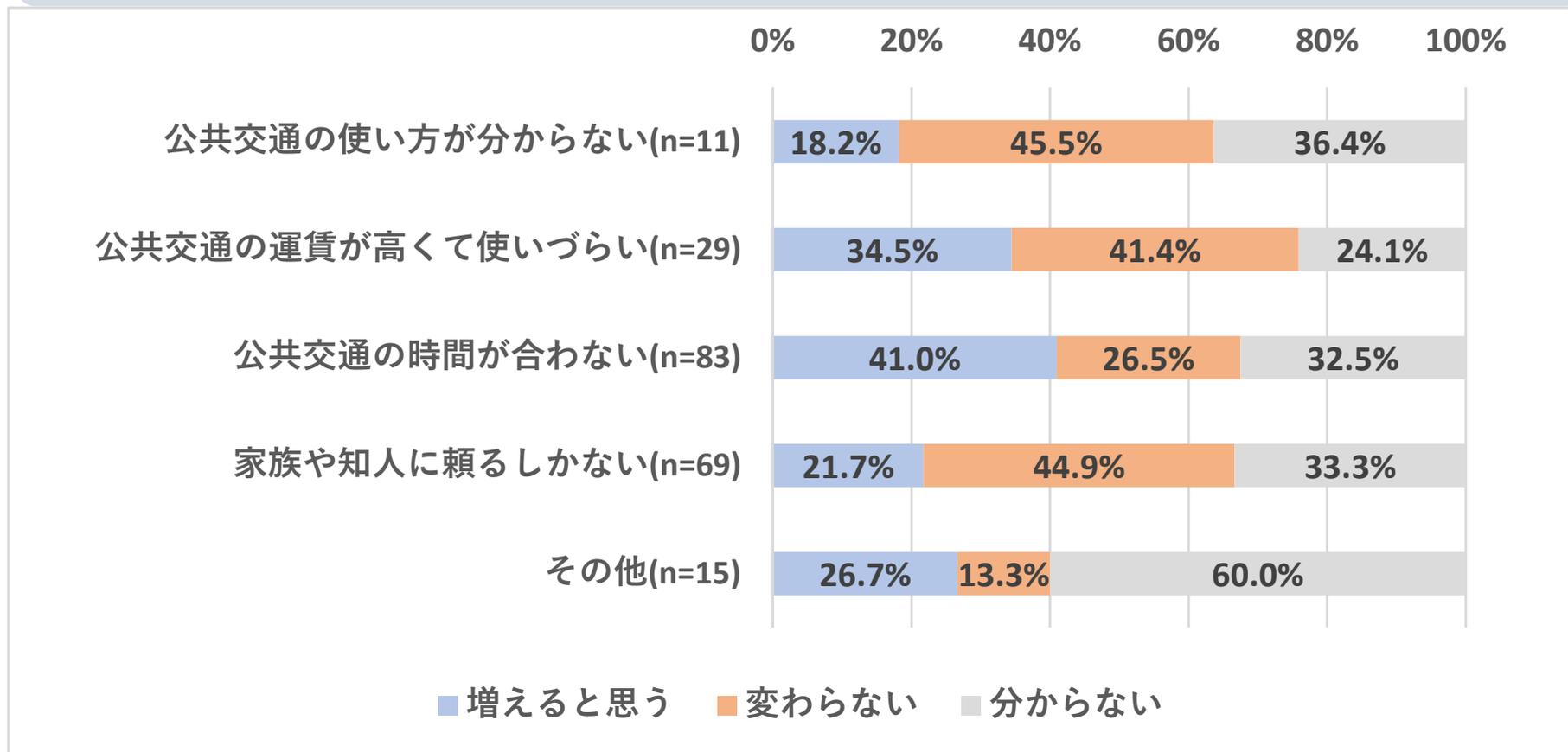
問1②×問8① 年齢別の移動で困っていること

年齢別に移動で困っていることを見ると、年齢が増すごとに家族や知人に頼るしかないと答えた割合が増加し、困ると感じたことがないと答えた割合が急激に減少している。また、公共交通の時間があわないと答えた割合も年齢が増すごとに減っている。



問8①×問8② 移動で困っていること別解消された場合の外出頻度の変化

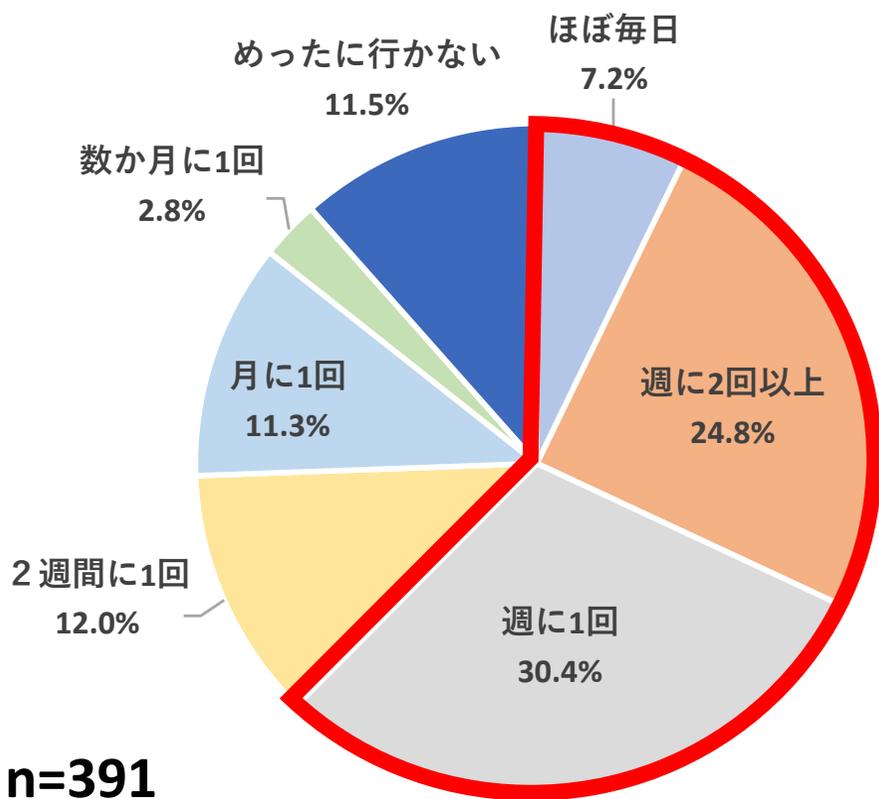
移動で困っていること別に解消された場合の外出頻度の変化を見ると、公共交通の時間が実際に利用したい時間と合うと、4割の人が外出頻度が増えると思うと答えた。一方、使い方がわかって増えると思うと答えた人は2割以下だった。



2. 分析結果 / 2 日常的な外出行動

問9① 買い物に行く頻度

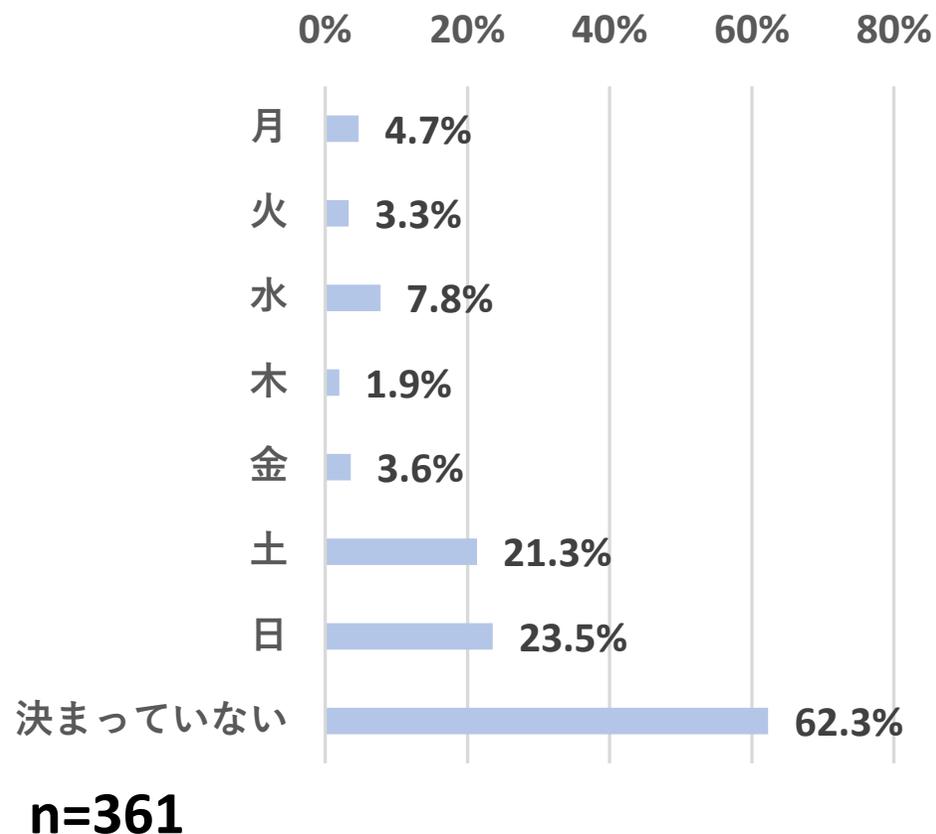
買い物に行く回数は週に1回が最も多く（30.4%）、週に2回以上（24.8%）、2週間に1回（12.0%）が続く。また、**62.4%が週1回以上買い物に行く。**



問9② 買い物に行く曜日

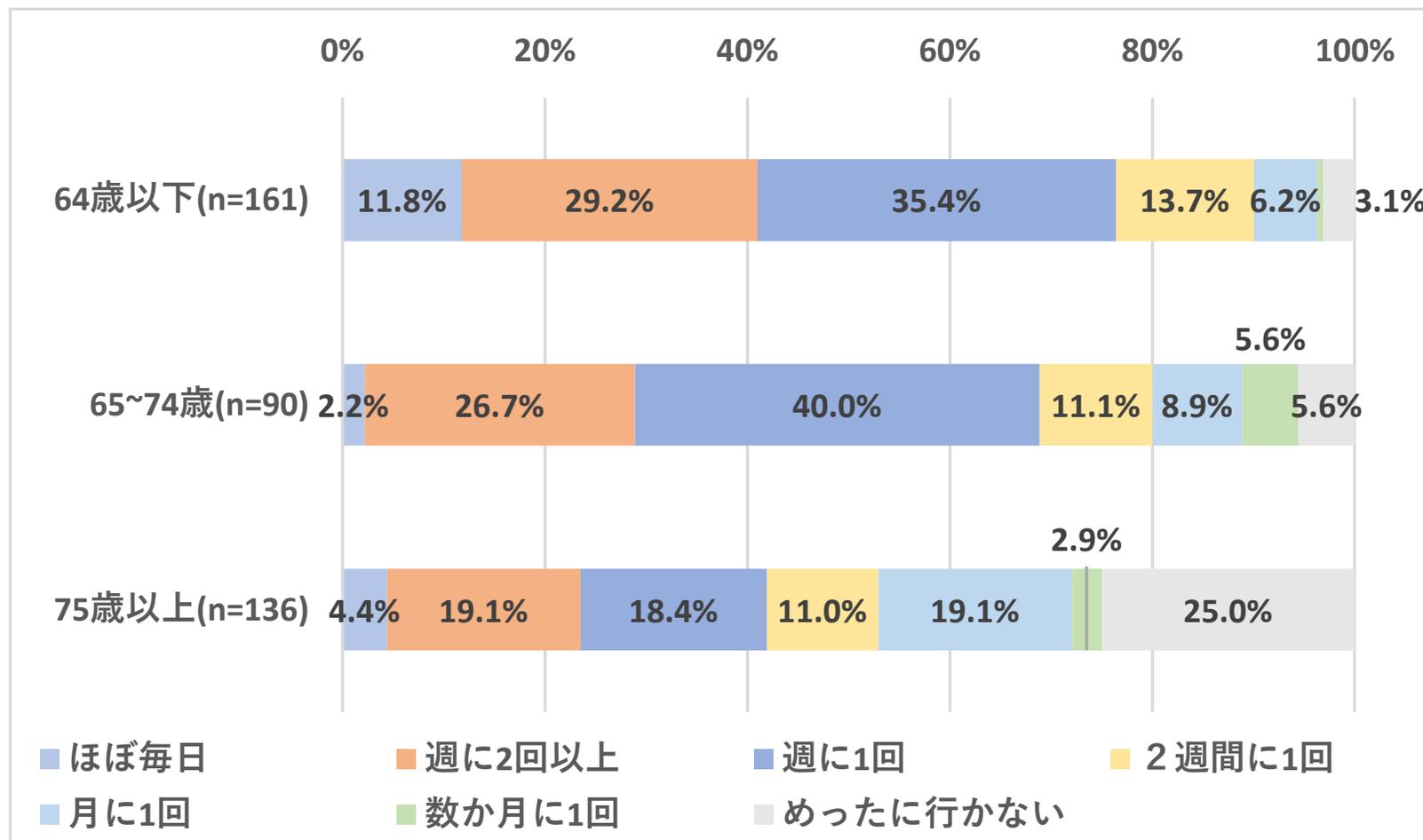
※問9①で「月に1回以上買い物をする方」のみ回答

買い物に行く曜日は特に決まっていないが半数以上（62.3%）おり、その他では日曜日（23.5%）、土曜日（21.3%）が多い



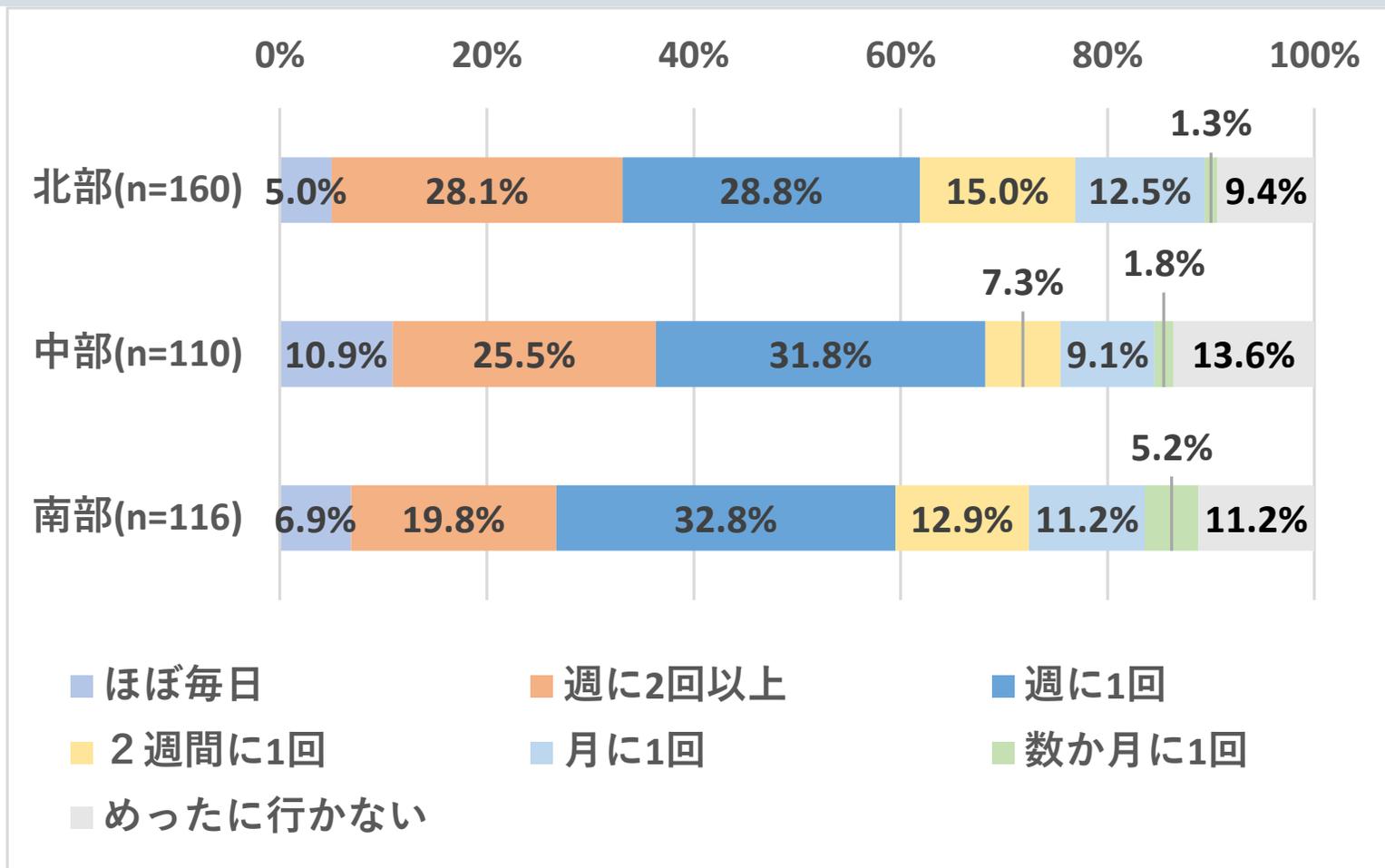
問1②×問9① 年齢別買い物頻度

年齢別に買い物に行く頻度を見ると、75歳以上では利用の頻度が極端に落ちており、約5割が2週間に1回以下しか買い物に行かないと答えている。



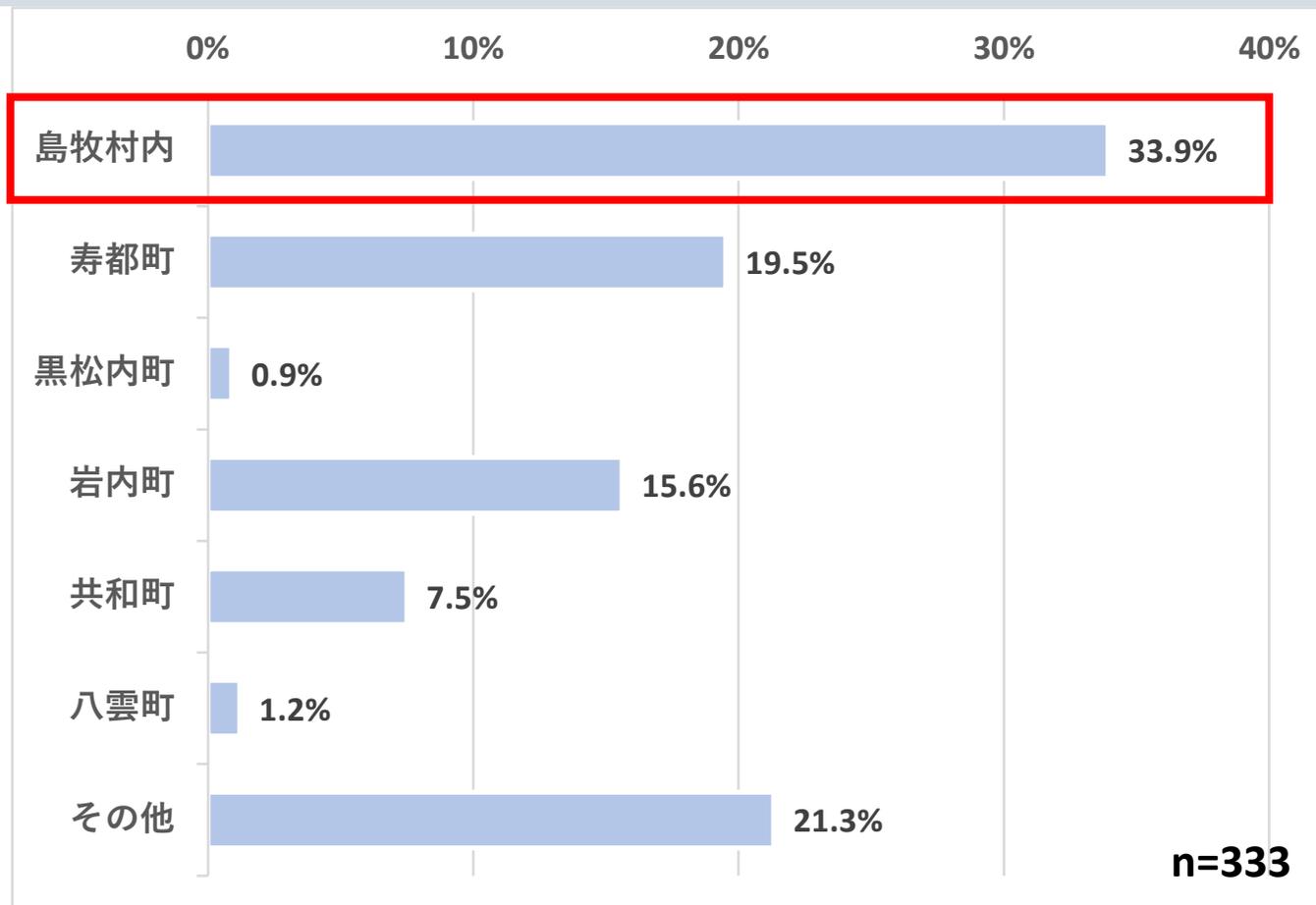
問3×問9① 地区別買い物頻度

地区別に買い物に行く頻度を見ても、地区ごとに大きな差は見られず、どの地区でも4割弱が買い物頻度が2週間に一回以下と答えている。



問9③ 買い物の目的地

買い物の目的地については**島牧村内**が最も多い(33.9%)が、**寿都町**(19.5%)、**岩内町**(15.6%)と続いた。また、今回のアンケートでは厚真町を目的地とする回答者はいなかった。



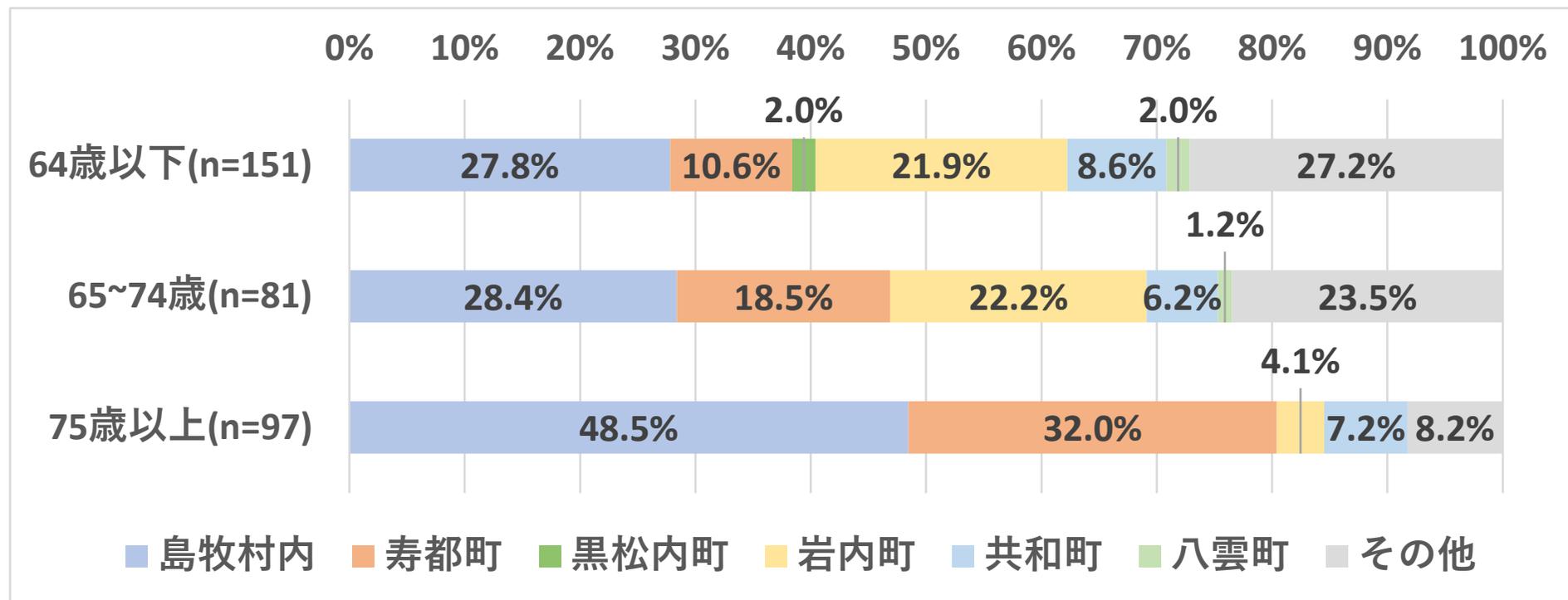
問9③ 買い物の具体的な目的地

島牧村内	セイコーマート島牧店	49
	佐藤商店	2
	その他	5
	回答なし	58
寿都町	イエローグローブ寿都店	18
	セイコーマート（寿都町内）	7
	その他	2
	回答なし	42
黒松内町	道の駅くろまつない	1
	回答なし	2
岩内町	ラッキー岩内店	25
	マックスバリュ岩内店	9
	セイコーマート岩内店	5
	DCMホームマック岩内店	4
	サツドラ	2
	その他	3
	回答なし	24

共和町	マックスバリュ共和店	24
	その他	2
八雲町	マックスバリュ八雲店	4
その他	札幌市	14
	伊達市	16
	せたな町	10
	長万部町	7
	今金町	6
	小樽市	6
	倶知安町	5
	その他	6
	回答なし	21

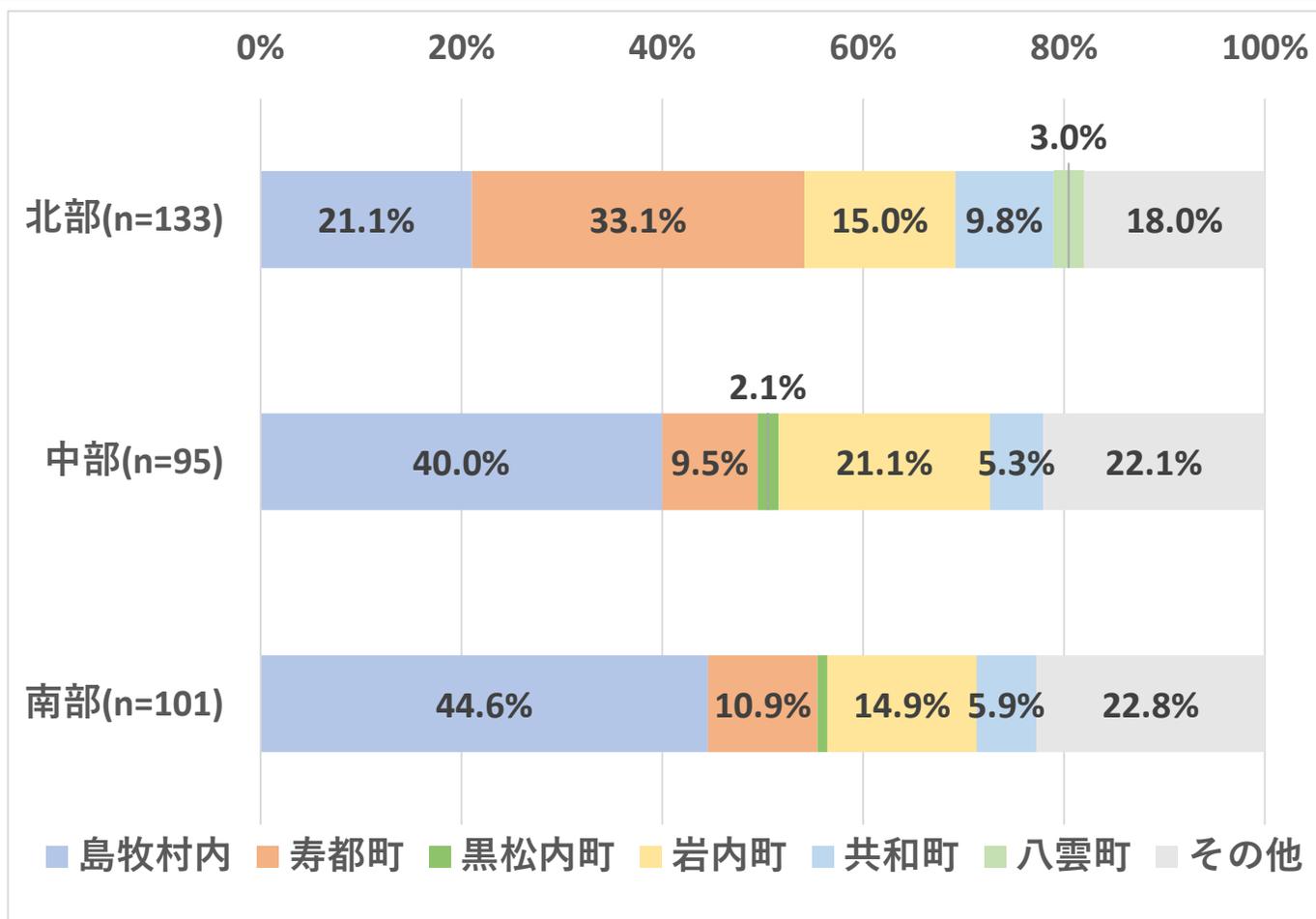
問1②×問9③ 年齢別買い物の目的地

年齢別に買い物の目的地を見ると、75歳以上は約半数が村内で買い物をしている。寿都町と答えた割合も3割おり、75歳以上の8割が村近辺で買い物をしている。



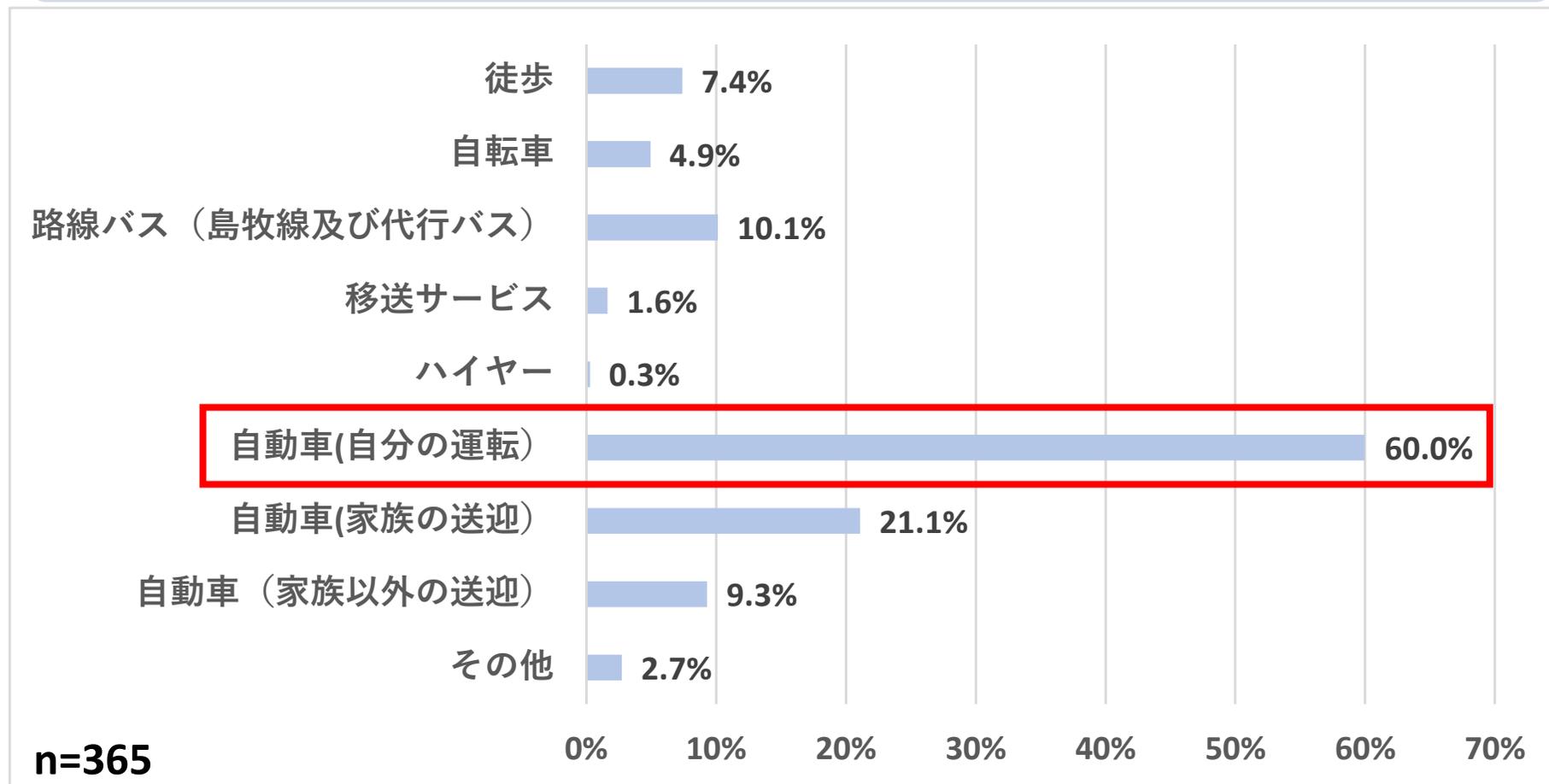
問3×問9③ 居住地別買い物の目的地

居住地別に買い物の目的地を見ると、中部地区、南部地区では島牧村内で買い物を済ませている割合が4割ほどいる一方、北部地区では2割程度しかおらず、8割が村外で買い物をしている。



問9④ 買い物に行く際の主な交通手段

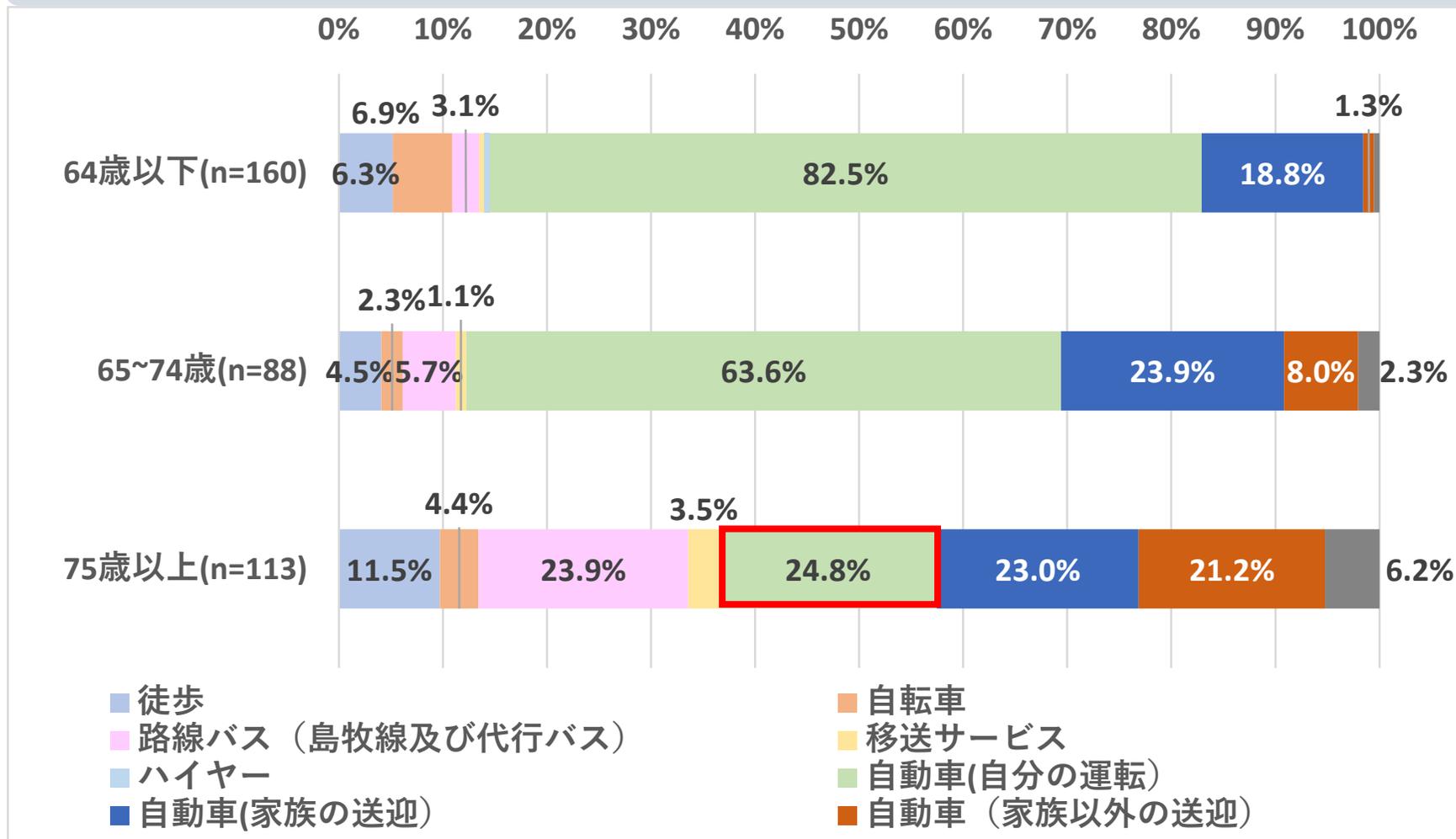
買い物の交通手段については**自動車(自分の運転)**が大多数を占め(60.0%)、次に 自動車(家族の送迎)(21.1%)、路線バス(10.1%)と続く。



2. 分析結果 / 2 日常的な外出行動

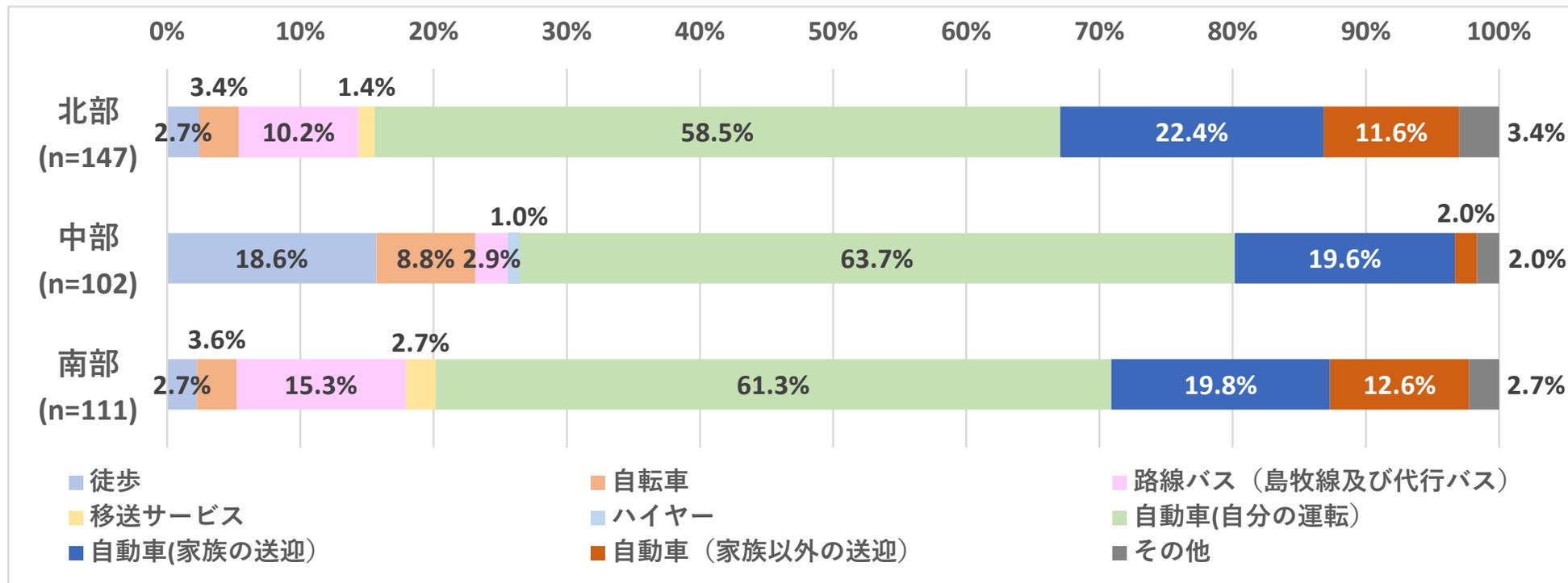
問1②×問9④年齢別の買い物の移動手段

年齢別の買い物先への移動手段は、50代以上では年齢が増すごとに自分の自動車と答えている割合が減っていき、75歳以上では25%まで減少する。また、年齢が増すことで主に増えているのは徒歩、路線バス、移送サービスなどである。



問3×問9④地区別の買い物への移動手段

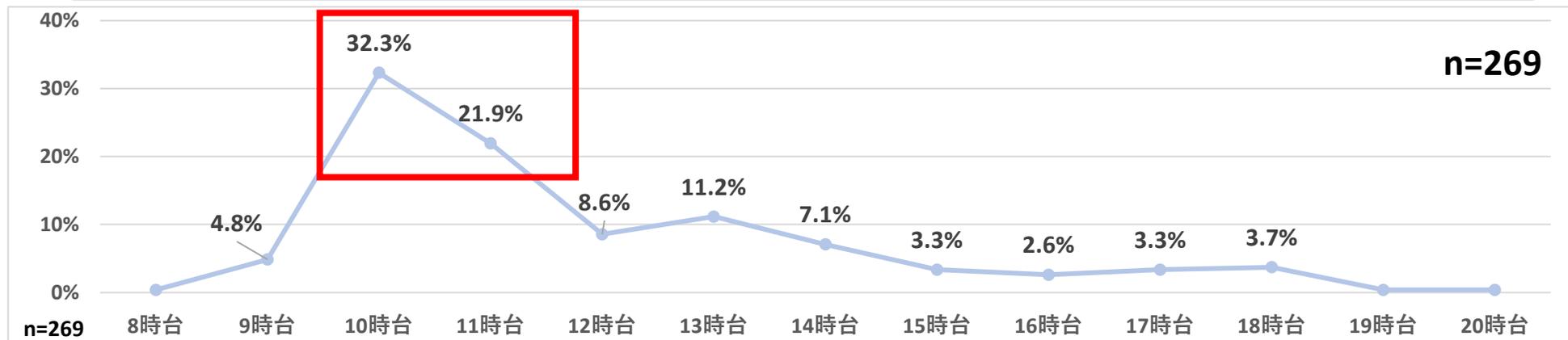
地区別の買い物先への移動手段は、どの地区でも6割程度が自分の運転と答えている。また、中部地区のみ徒歩、自転車と答えた割合が高く、北部地区、南部地区では路線バスを利用すると答えた割合が10%ほどあった。



2. 分析結果 / 2 日常的な外出行動

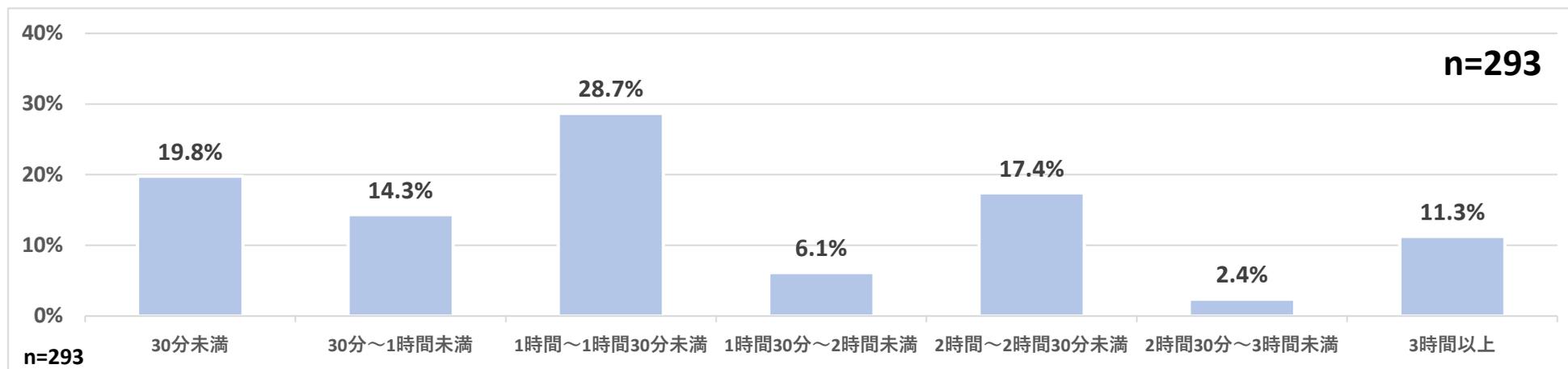
問9⑤-1 買い物先に到着する時間

買い物先に到着する時間としては10時台が多く(32.3%)、10時台、11時台に買い物をしている人が多い。



問9⑤-2 買い物先の滞在時間

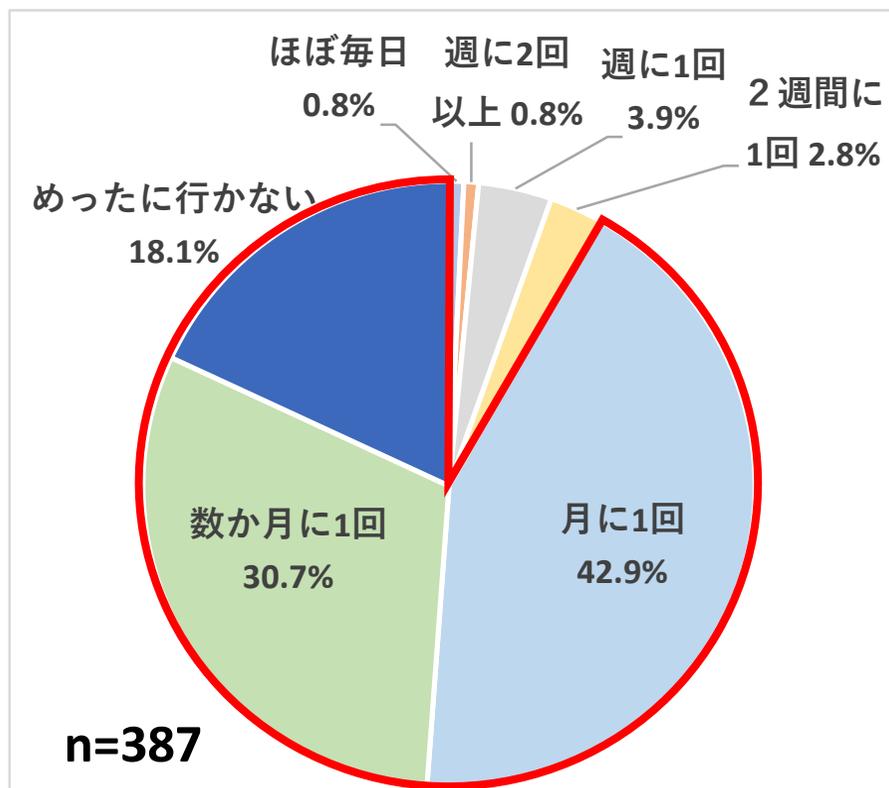
買い物先では1時間半以内の滞在が多くを占めたが、2時間以上滞在すると答えた人も約3割いた。



2. 分析結果 / 2 日常的な外出行動

問10①病院・クリニックに行く頻度

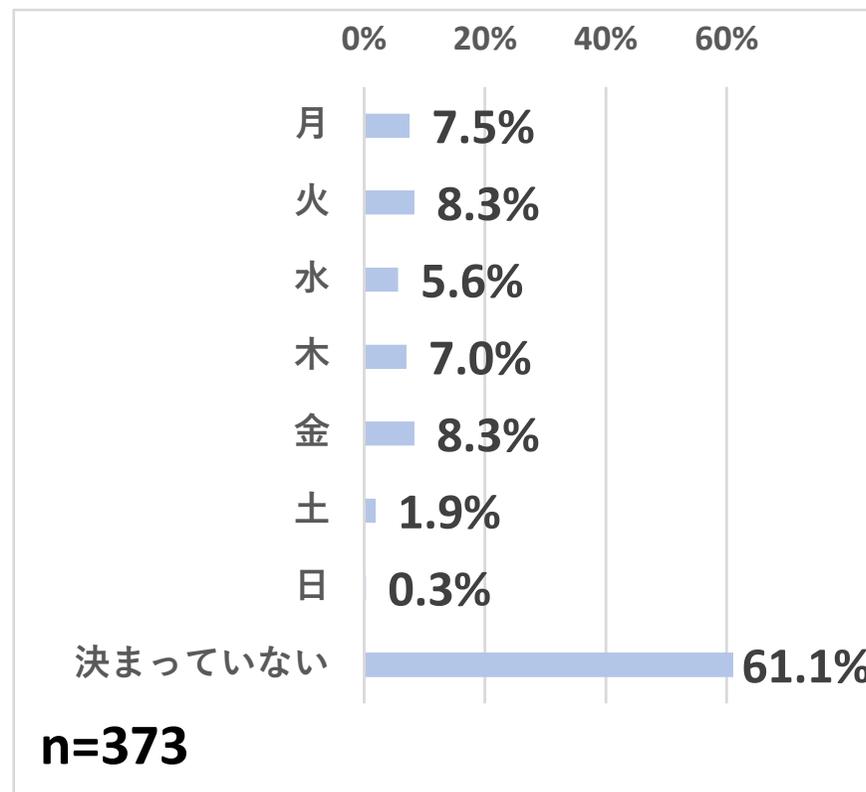
買い物に行く回数は月に1回が最も多く(42.9%)、数か月に1回(30.7%)が続く。また、91.7%が月に1回以下しか病院に行かない。



問10②病院に行く主な曜日

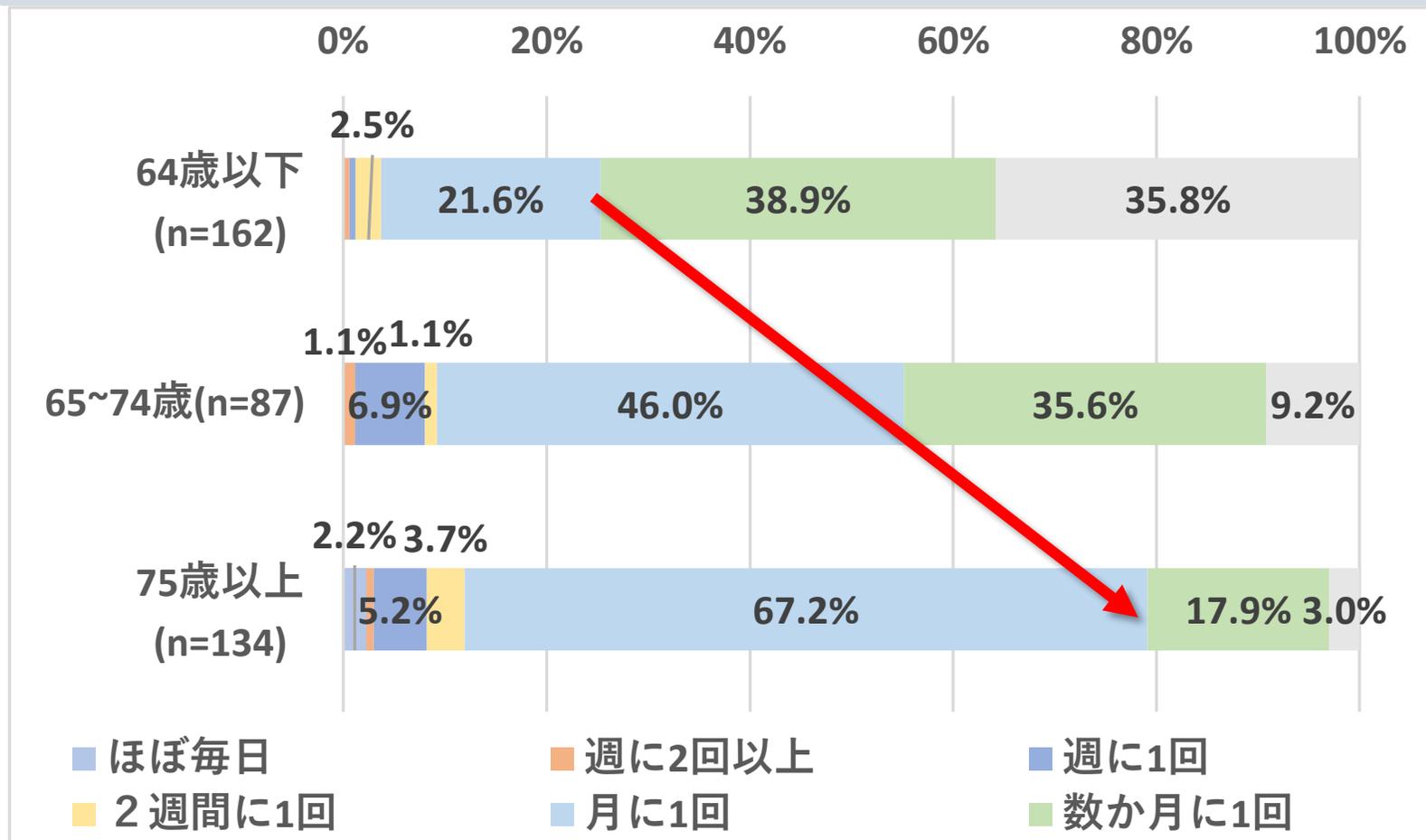
※問10①で月に1回以上病院へ行く方のみ回答

病院に行く曜日は特に決まっていないと答えた方が61.1%おり、その他では平日が概ね7%前後となっている。



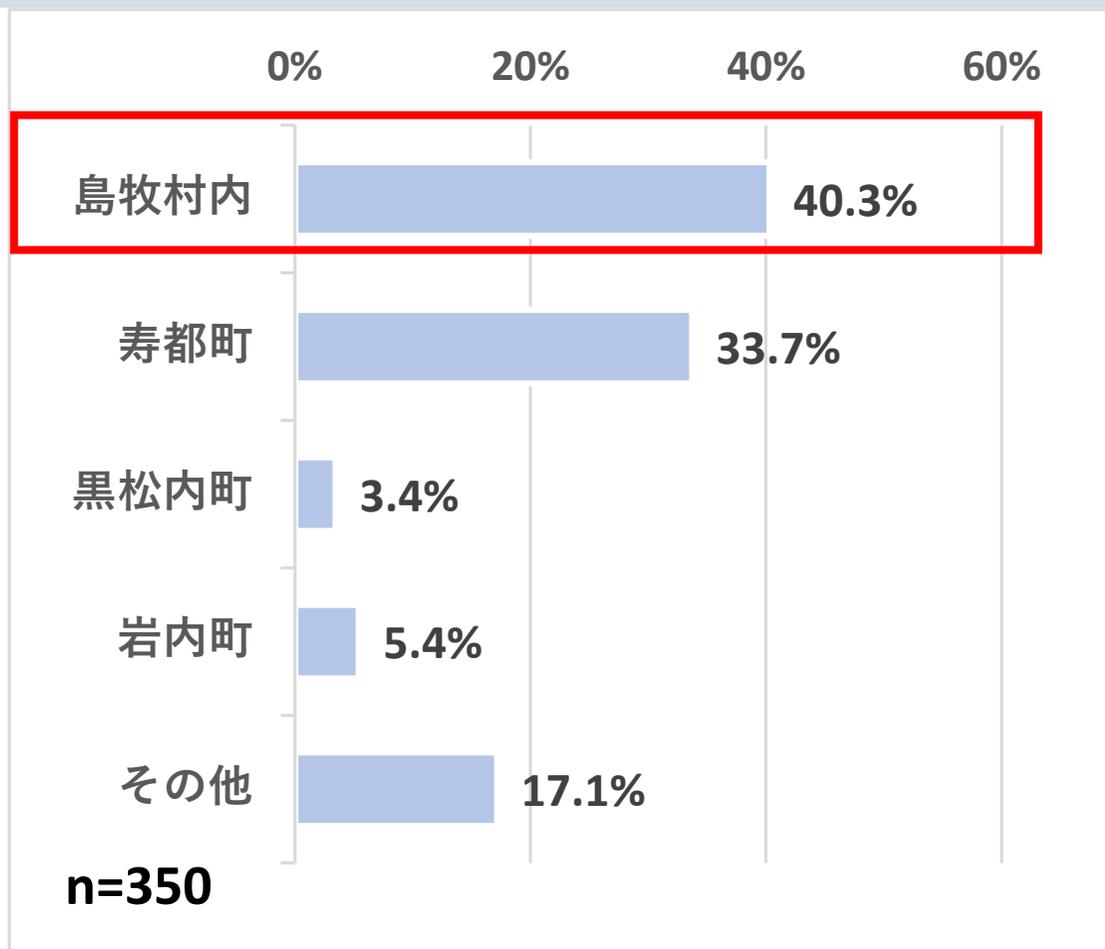
問1②×問10① 年齢別通院頻度

年齢別に通院の頻度を見ると**年齢が上がるにつれて頻度が上がっている**。75歳以上ではめったに行かないと答えた割合が3%で、約7割の回答者が月1回以上病院に行くと考えた。



問10③通院の目的地

通院の目的地については**島牧村内が最も多く(40.3%)**、次に寿都町(33.7%)と続く。

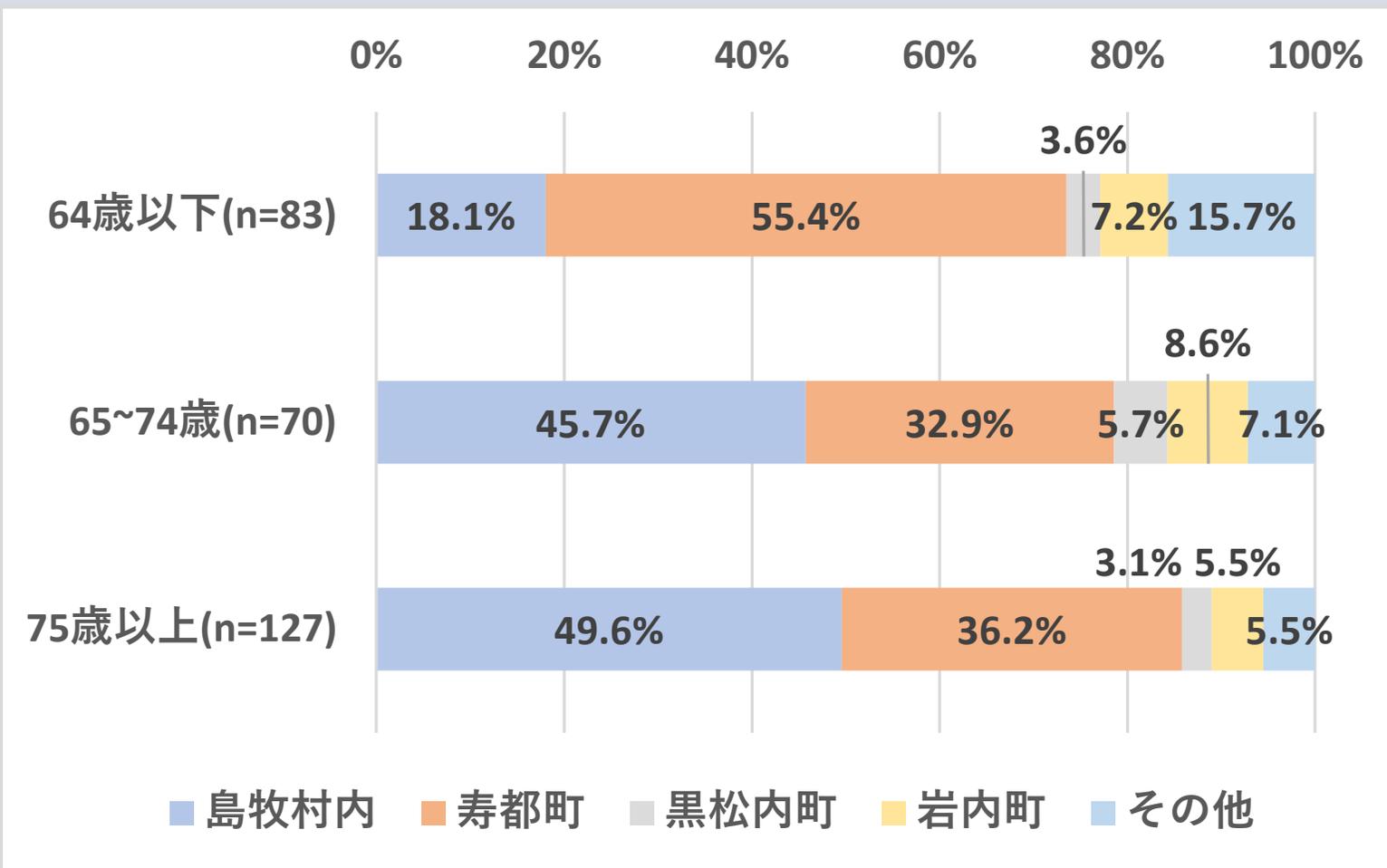


問10③通院の目的地

島牧村内	島牧診療所	31
	その他	4
	回答なし	76
寿都町	寿都診療所	54
	杏柚会寿都歯科医院	2
	その他	4
	回答なし	62
黒松内町	ブナの森診療所	3
	その他	1
	回答なし	8
岩内町	岩内協会病院	8
	岩内眼科クリニック	4
	その他	3
	回答なし	4
その他	小樽市	9
	札幌市	34
	倶知安町	7
	その他	5
	伊達市	5
	回答なし	11

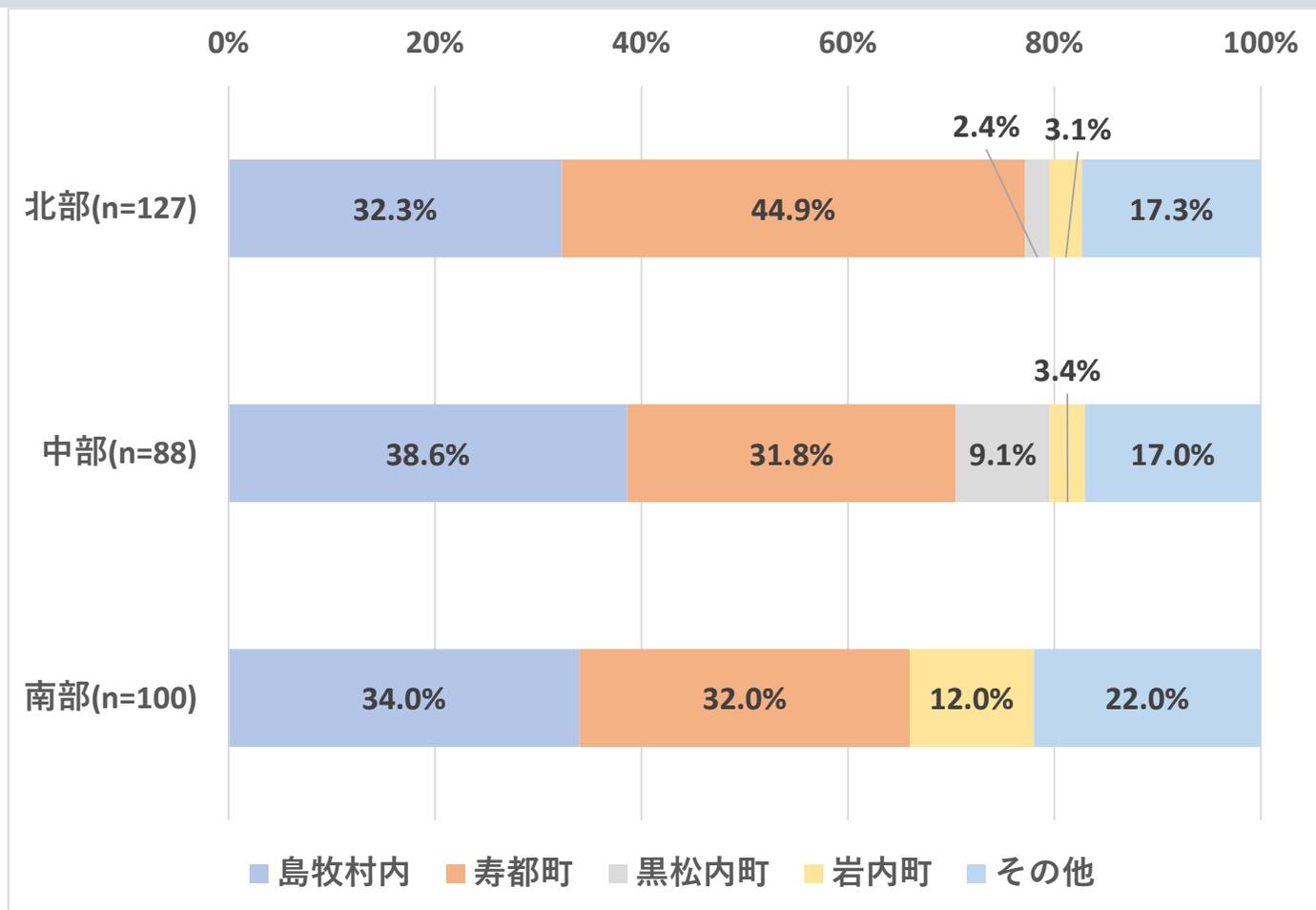
問1②×問9③ 年齢別通院の目的地

年齢別に通院の目的地を見ると、年齢を経るほど村内へ通院している割合が高くなっている。また、その他（主に村から遠い市町村）が年齢を経るごとに低くなっており、年齢を増すほど近場の病院へ通院している。



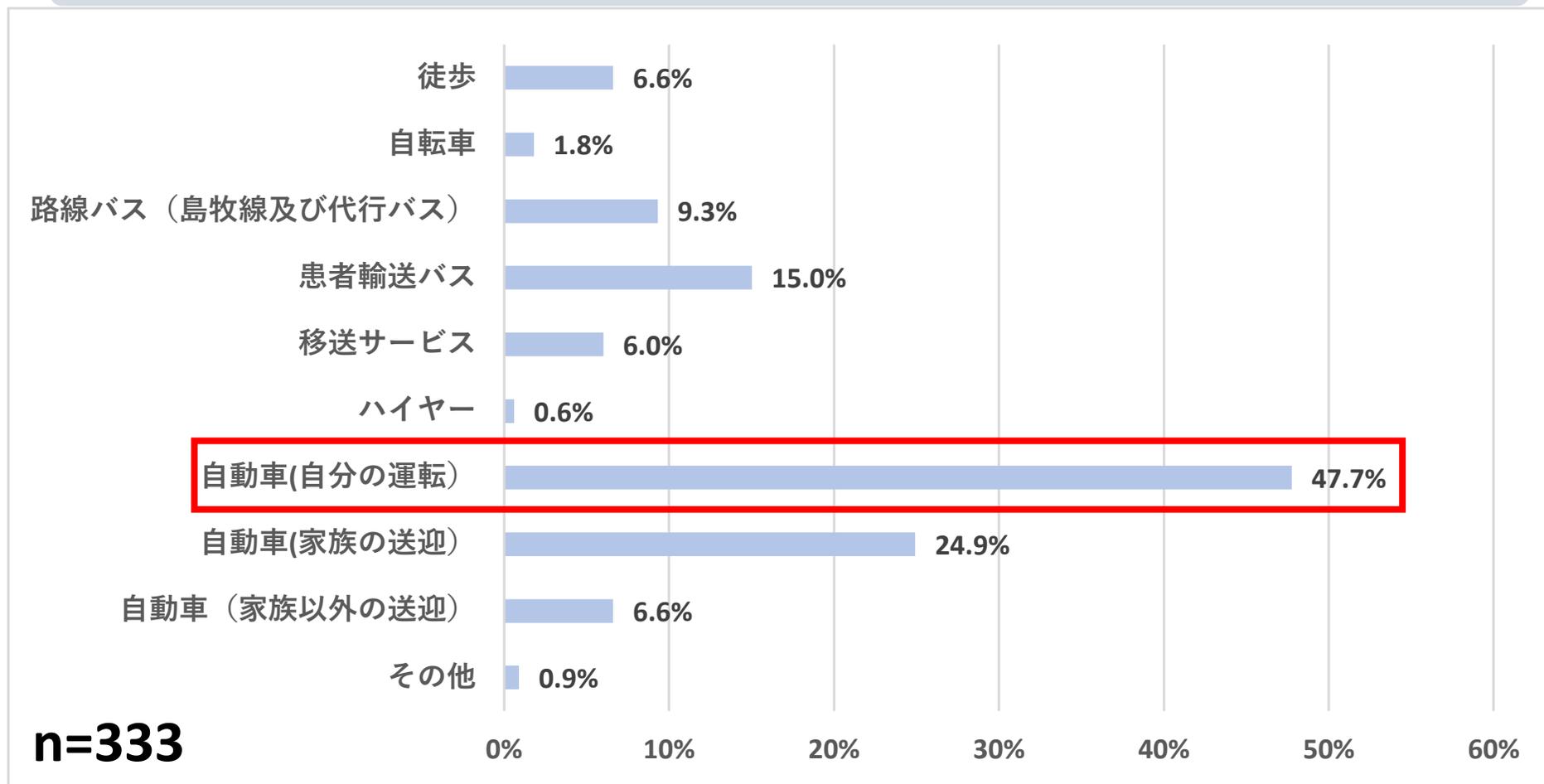
問3×問9③ 地区別通院の目的地

地区別に通院の目的地を見ると、村内に通院していると答えた割合がどの地区も35%前後だった。また、北部地区は他の地区と比べ寿都町に言っている割合が比較的高く、南部地区は岩内町に言っている割合が比較的高かった。



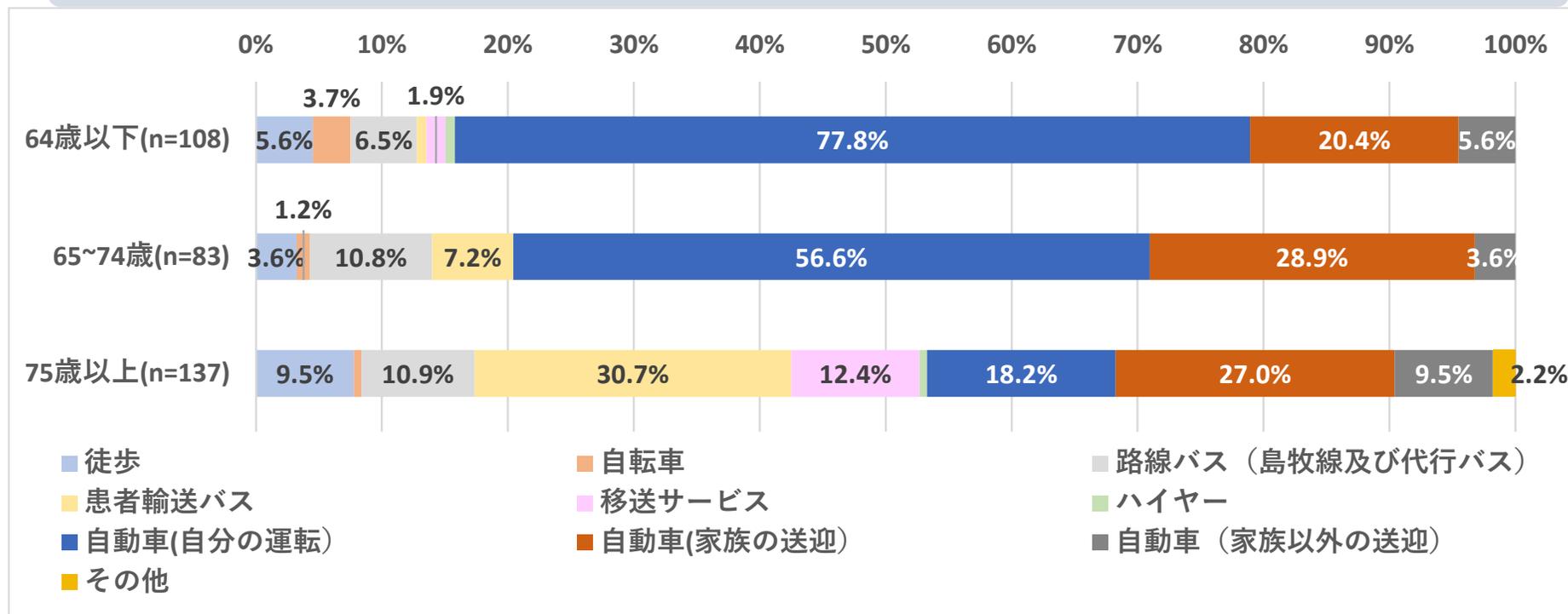
問10④通院の交通手段

通院の交通手段については**自分の自動車**が大多数を占め(47.7%)、次に**家族の送迎**(24.9%)、**患者輸送バス**(15.0%)と続く。



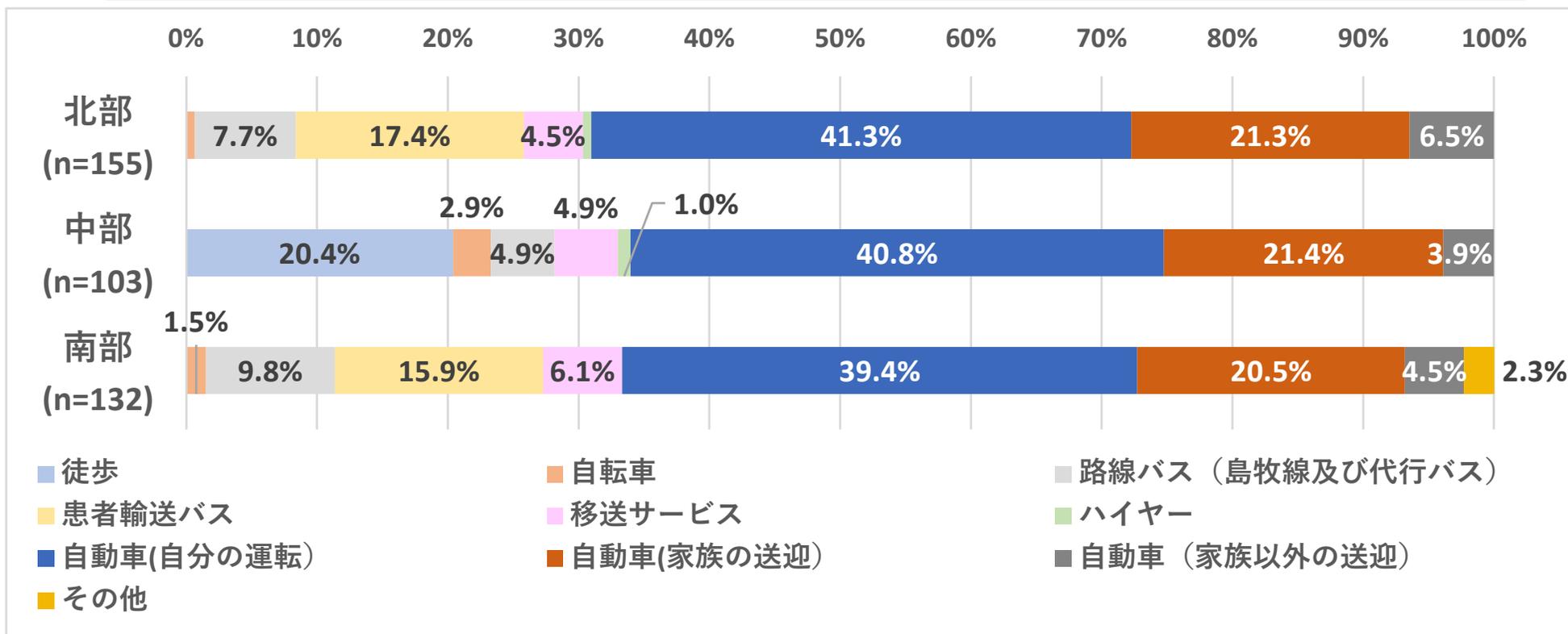
問1②×問10④ 年齢別病院への移動手段

年齢別の病院への移動手段では、どの世代でも自家用車が一番多い割合となったが、75歳以上は自家用車の割合が大幅に下がり、患者輸送バスなど他の移動手段が増加している。



問3×問10④ 居住地別病院への移動手段

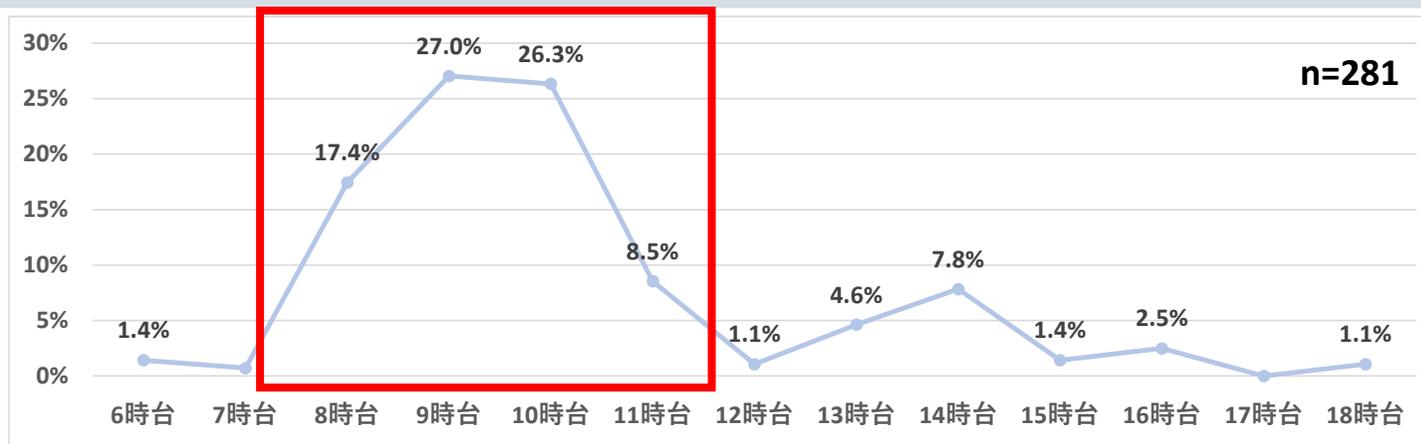
居住地別の病院への移動手段では、どの世代でも自家用車が一番多い割合となった。また、中部地区では徒歩が2割を占めたが、他の地区では患者輸送バスが15%前後となっている。



2. 分析結果 / 2 日常的な外出行動

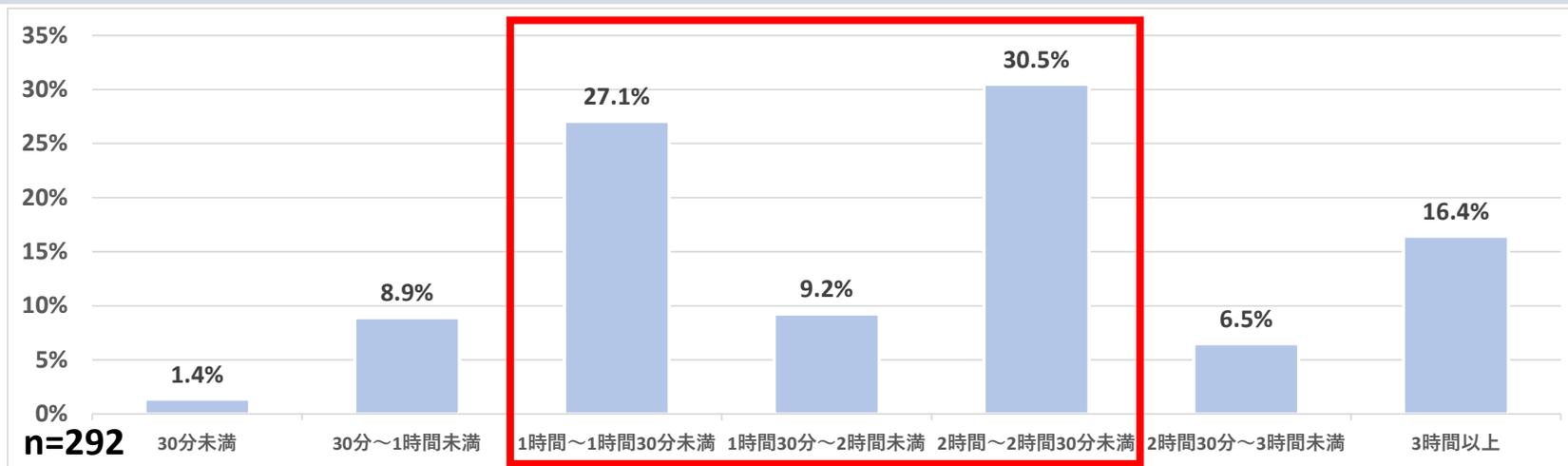
問10⑤-1 通院先に到着する時間帯

病院に到着する時間としては9時台(27.0%)、10時台(26.3%)を中心に、午前中に到着している方が多い。



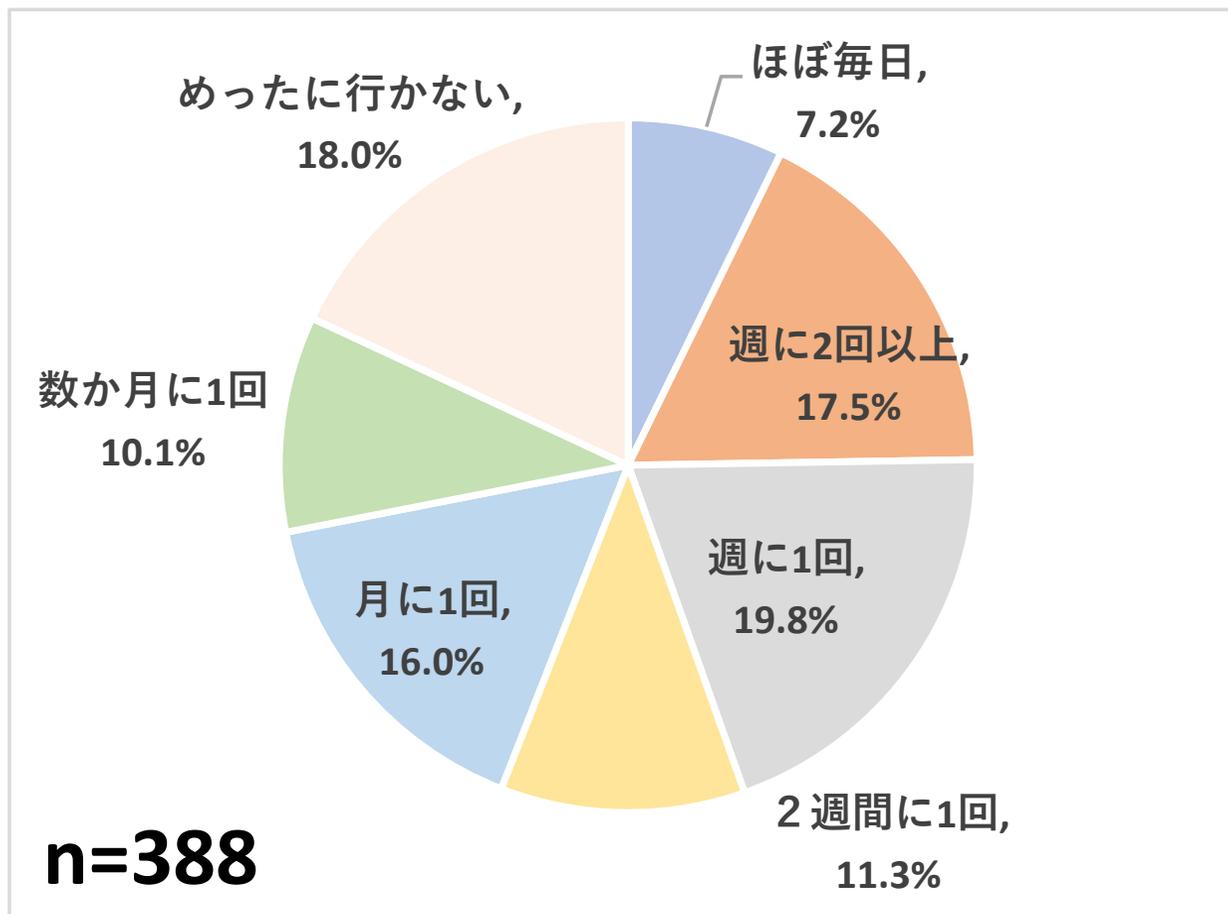
問10⑤-2 通院先の滞在時間

病院では1時間から2時間30分未満の滞在が多くを占めた。また、3時間以上滞在している方も16%程度見られた。



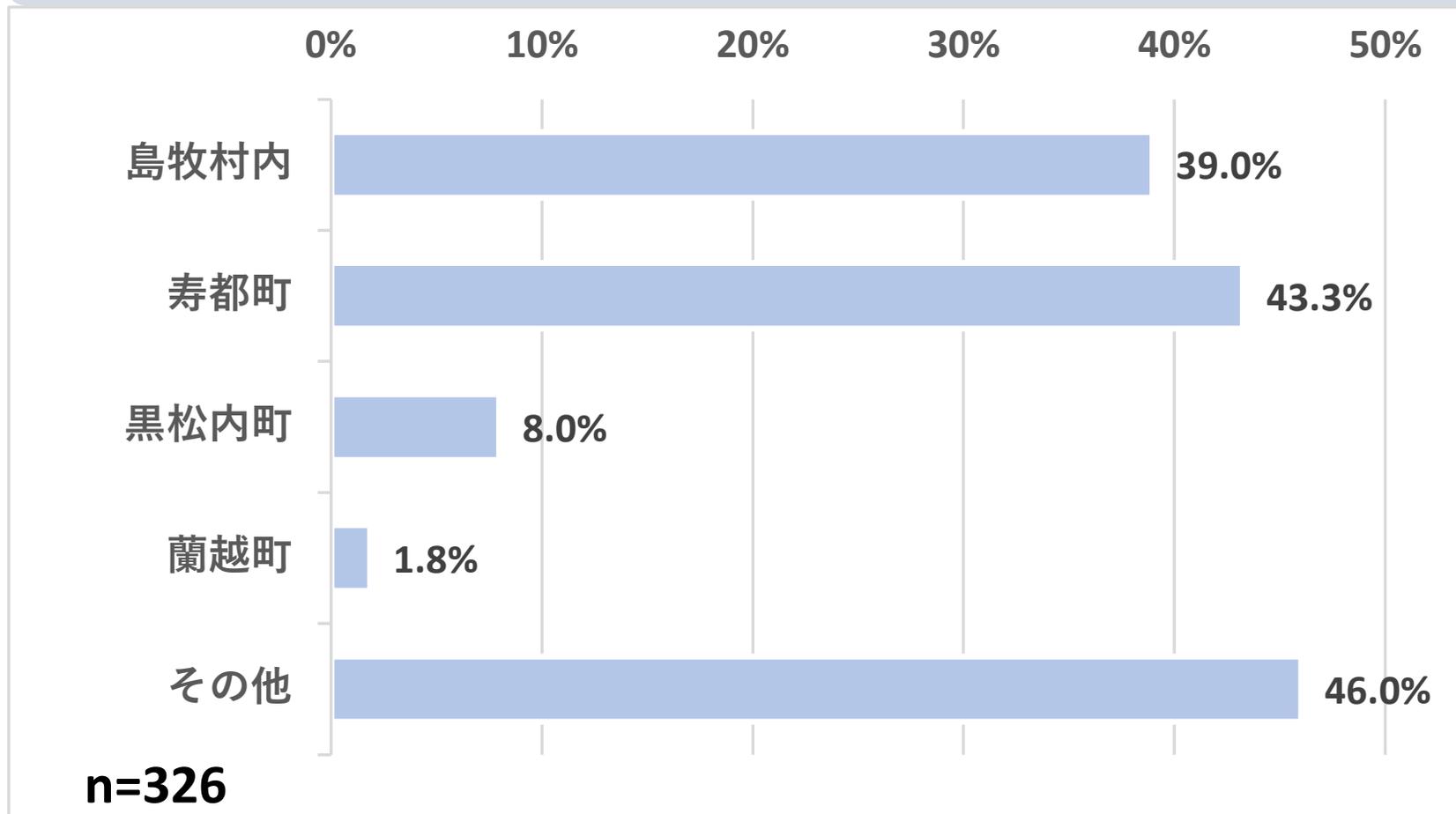
問11①私用で出かける頻度

私用に行く回数は週に1回が一番多く(19.8%)、ほぼ同数でめったに行かない(18.0%)、週に2回以上(17.5%)が続く



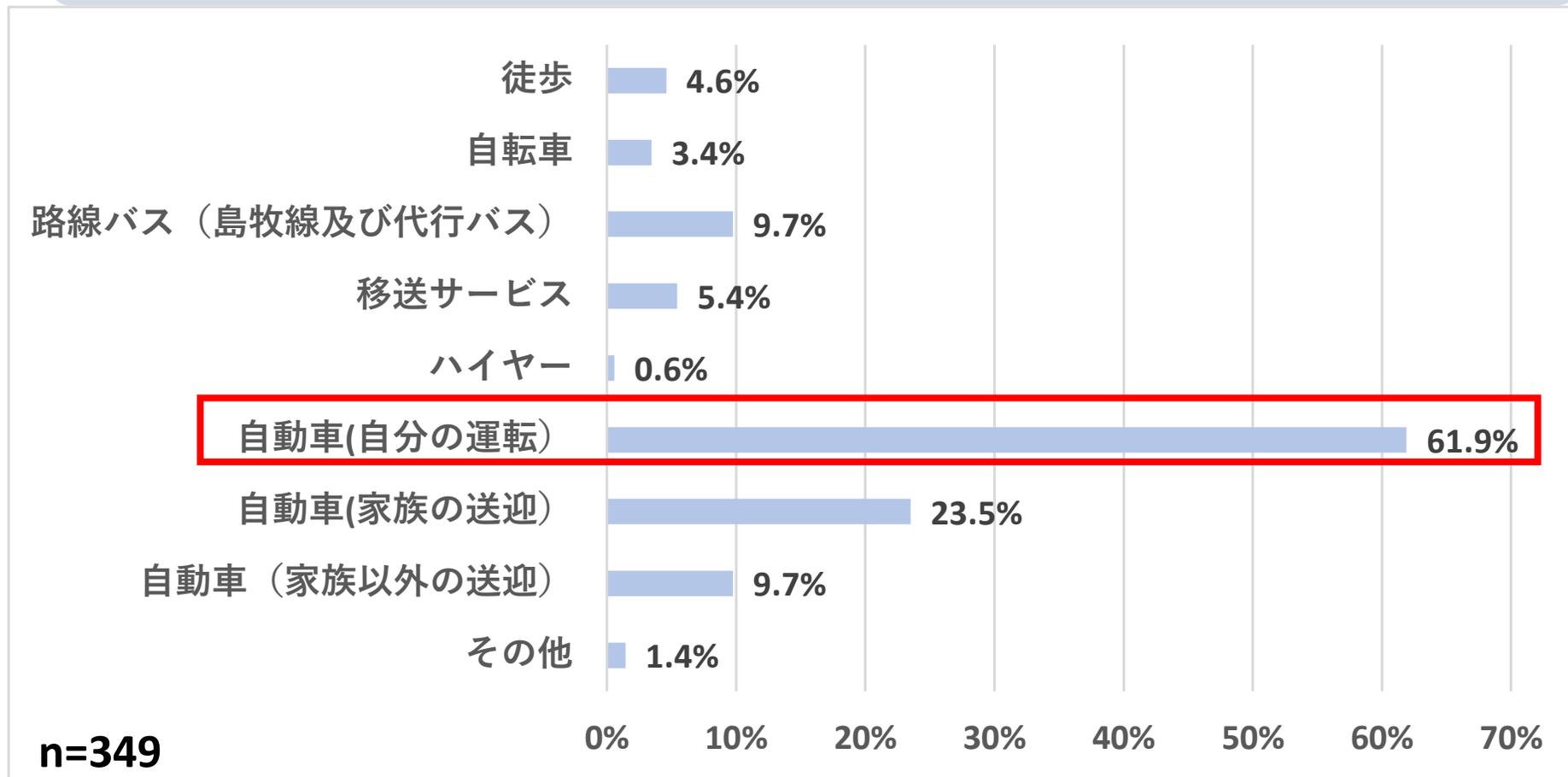
問11②私用でよく行く場所

私用でよく行く場所については寿都町が最も多く(43.3%)次に島牧村内(39.0%)と続いた。また、その他と答えた回答では岩内町、八雲町、今金町、札幌市や小樽市など、多様な回答があった。



問11③私用の交通手段

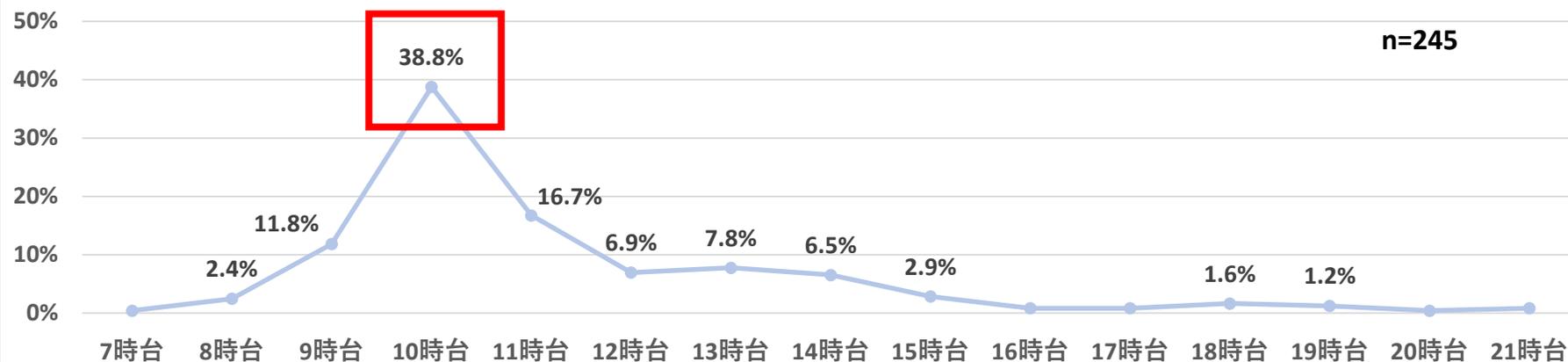
私用の交通手段については**自分の自動車**が大多数を占め(61.9%)、次に家族の送迎(23.5%)が続く。ハイヤーと答えた方はほとんど見られなかった。



2. 分析結果 / 2 日常的な外出行動

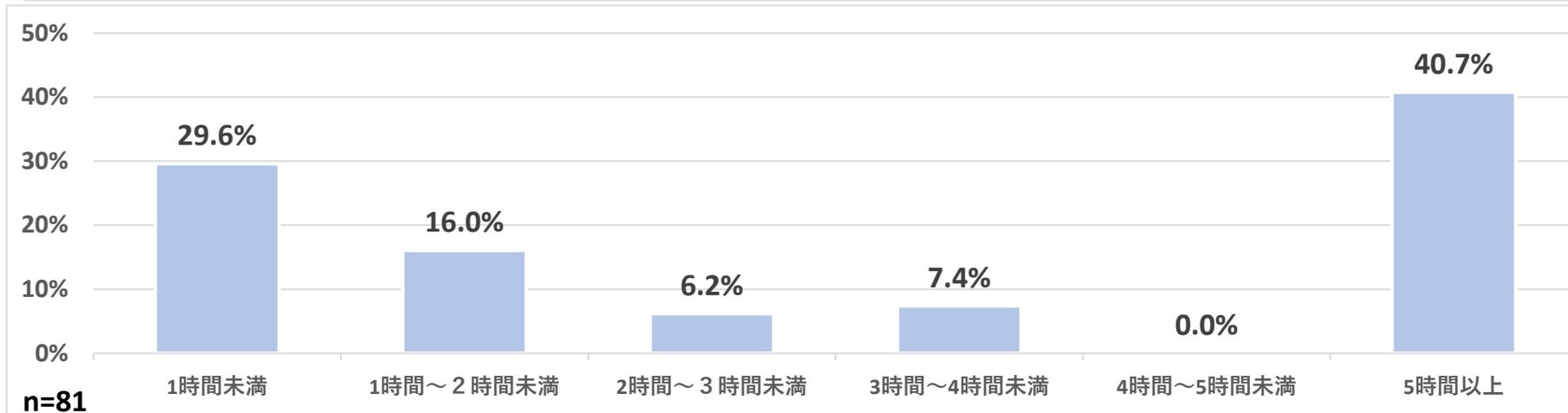
問10④-1私用の外出先に到着する時間

外出先に到着する時間帯は**10時台**が多くを占め、午後に到着すると答えた割合は低かった。



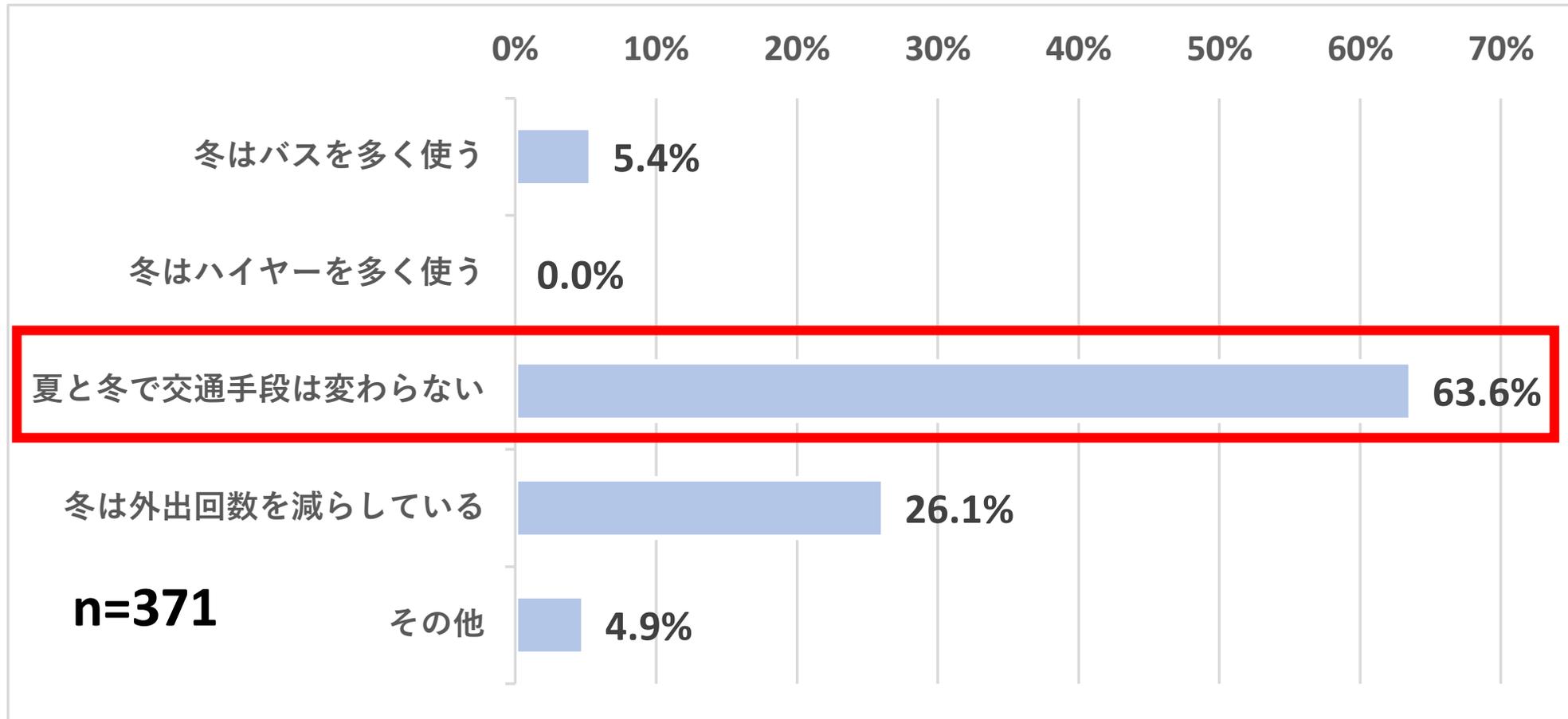
問10④-2私用の外出先の滞在時間

外出先の滞在時間は5時間以上と答えた割合が4割だったが、1時間未満と答えた割合も約3割あった。



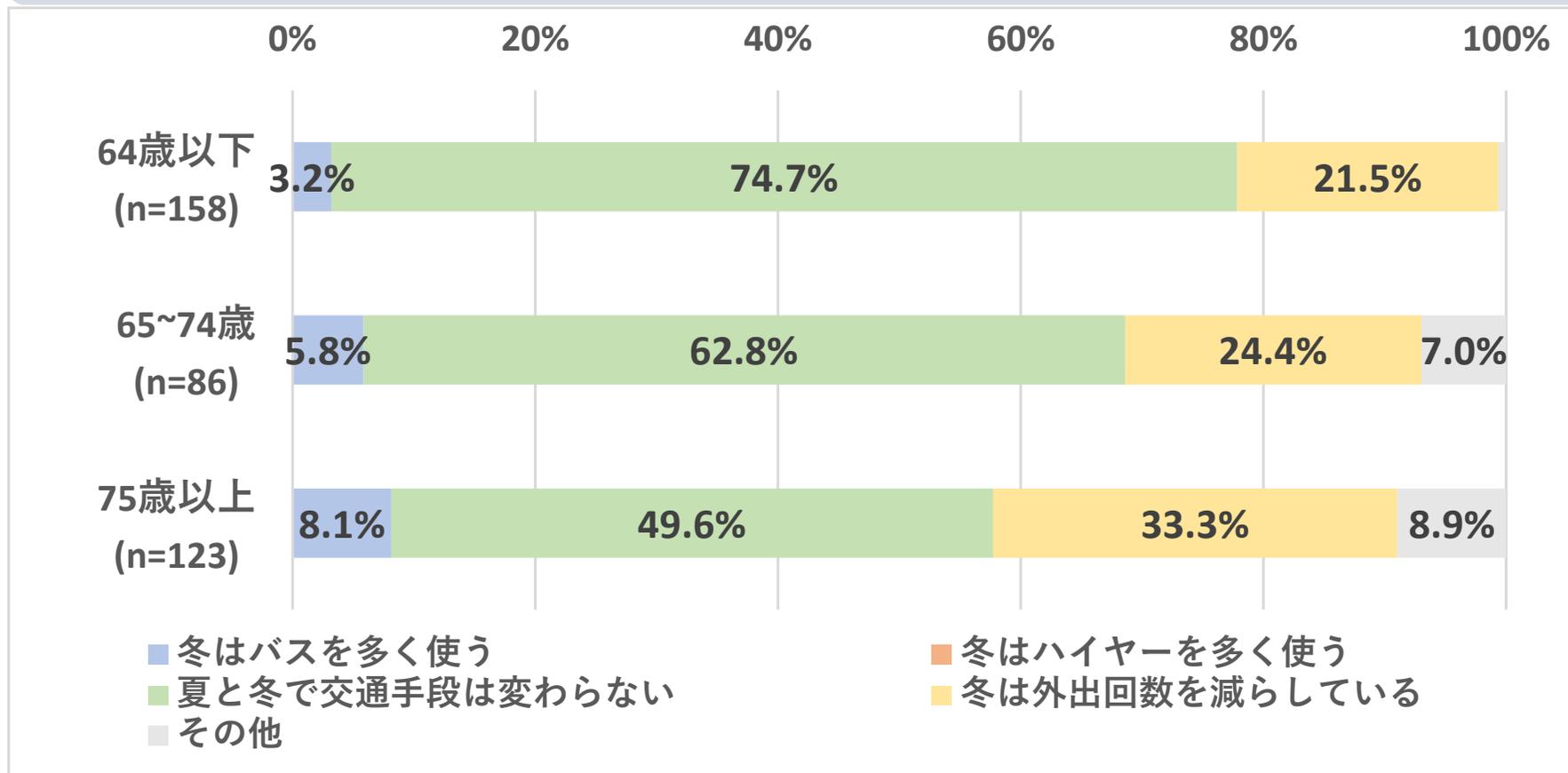
問12 冬季の移動手段の変化

冬季の移動手段の変化については冬季になっても交通手段は変わらないと答えた割合が多くを占め(63.6%)、外出回数を減らしている(26.1%)、冬はバスを多く使う(5.4%)と続く。



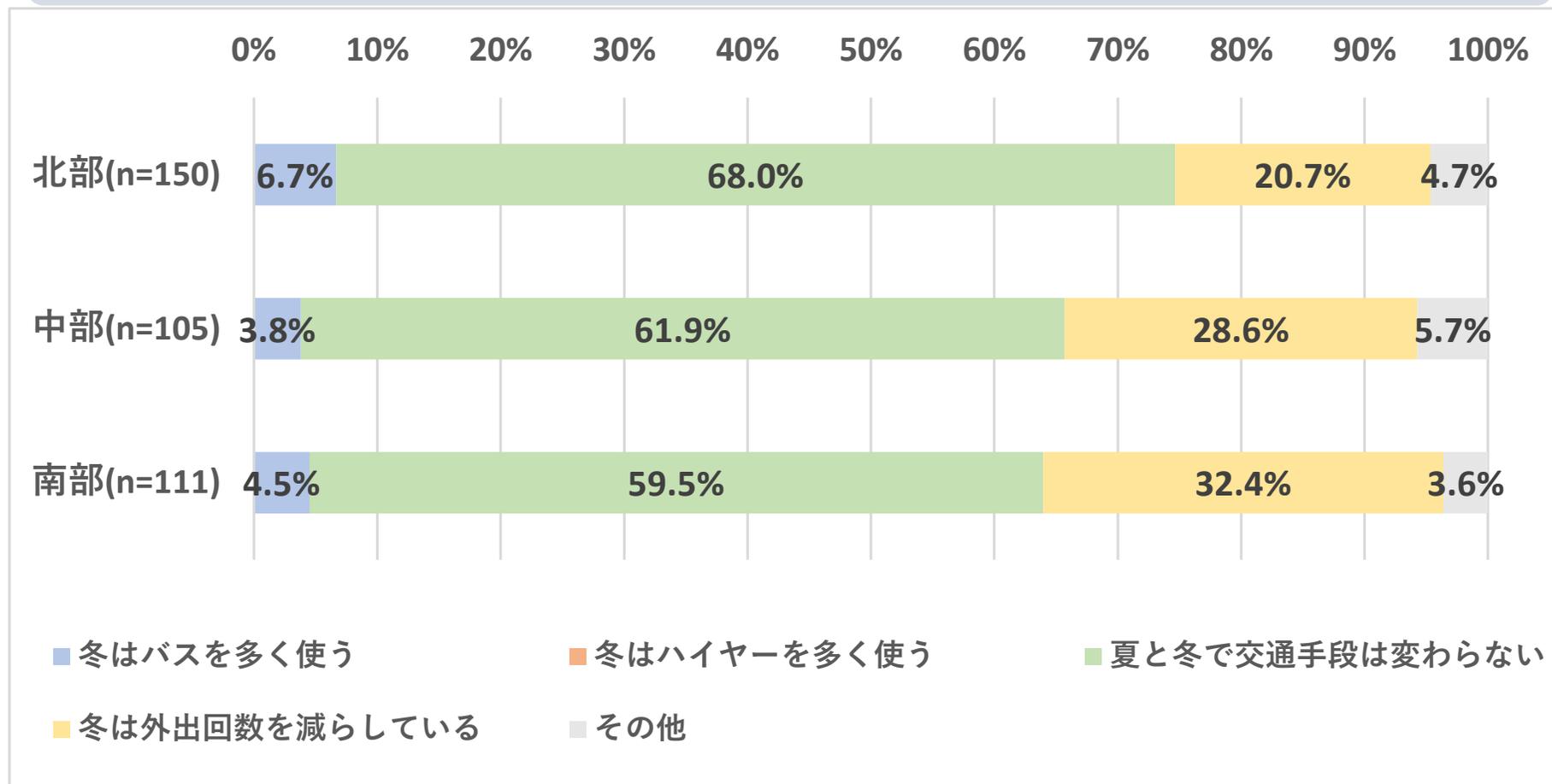
問1②×問12 年齢別冬季の移動手段の変化

年齢別の冬季の移動手段の変化を見ると、年齢が増すほど、交通手段は変わらないと答えた割合は減少し、何か変化している割合が増加している。



問3×問12 居住地別冬季の移動手段の変化

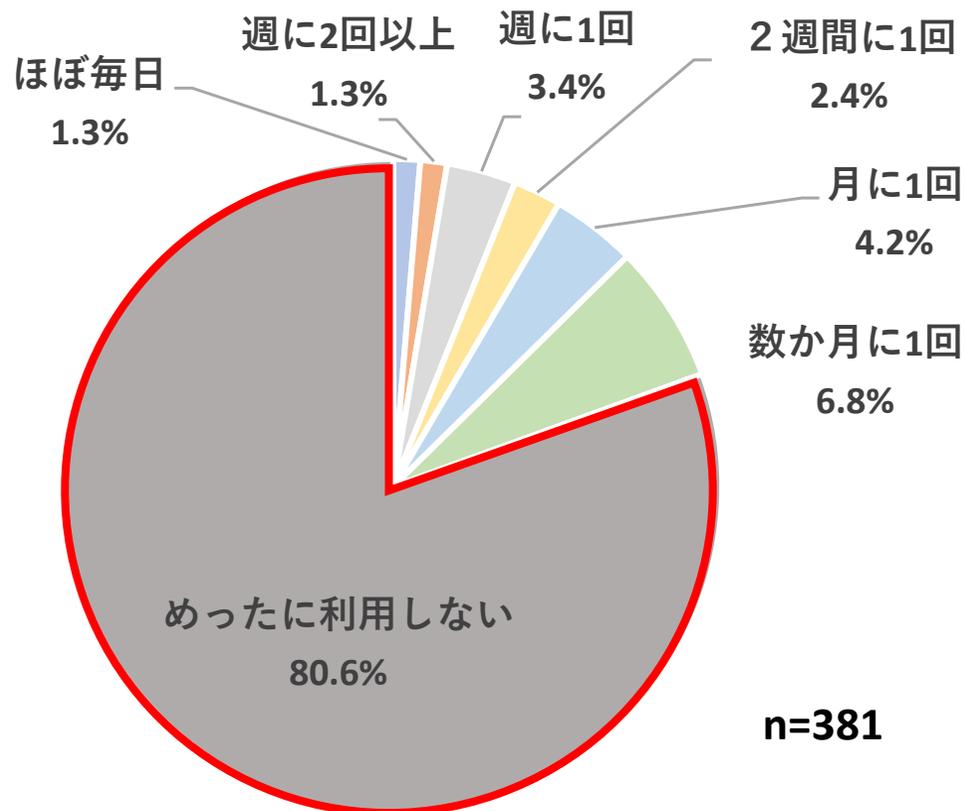
居住地別の冬季の移動手段の変化を見ると、冬になっても交通手段は変わらないと答えた割合がどの地区でも一番多い。また、北部地区では外出回数を減らすと答えた割合が比較的低く、バスを多く使うと答えた割合が比較的高い。



2. 分析結果 / 2 日常的な外出行動

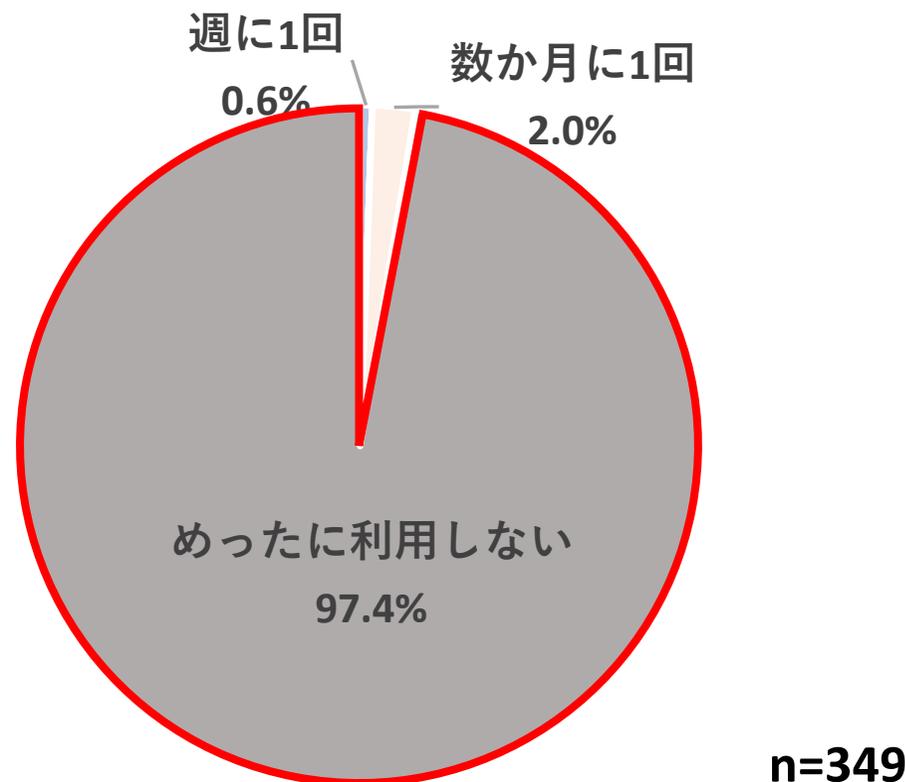
問13 路線バスの利用頻度

路線バスの利用頻度はめったに利用しないが8割を占め、月に1回以上利用する割合は10%を下回った。



問14 ハイヤーの利用頻度

ハイヤーの利用頻度としては回答のほぼすべてがめったに利用しないと答えた(97.4%)

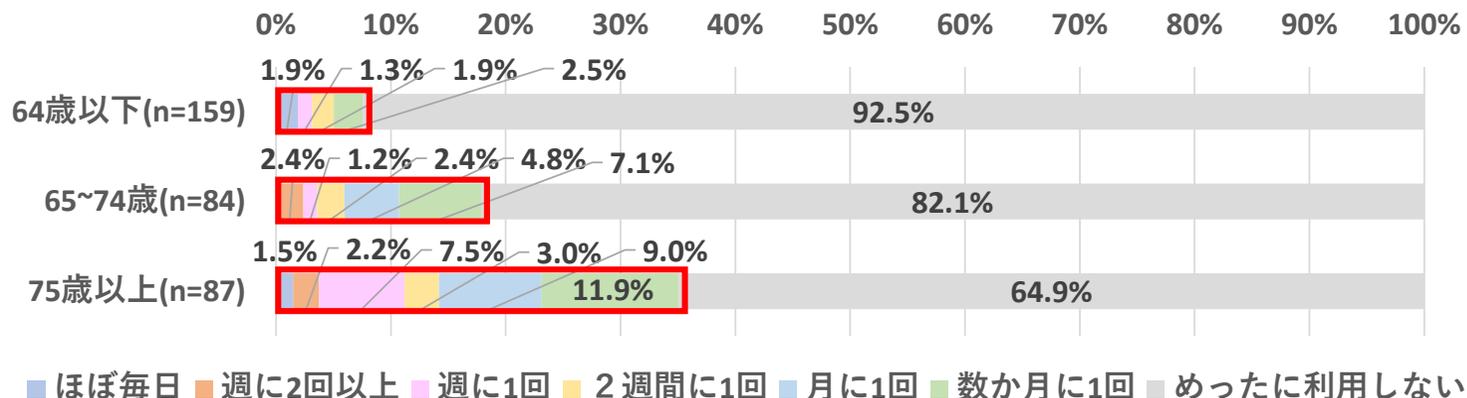


2. 分析結果 / 2 日常的な外出行動

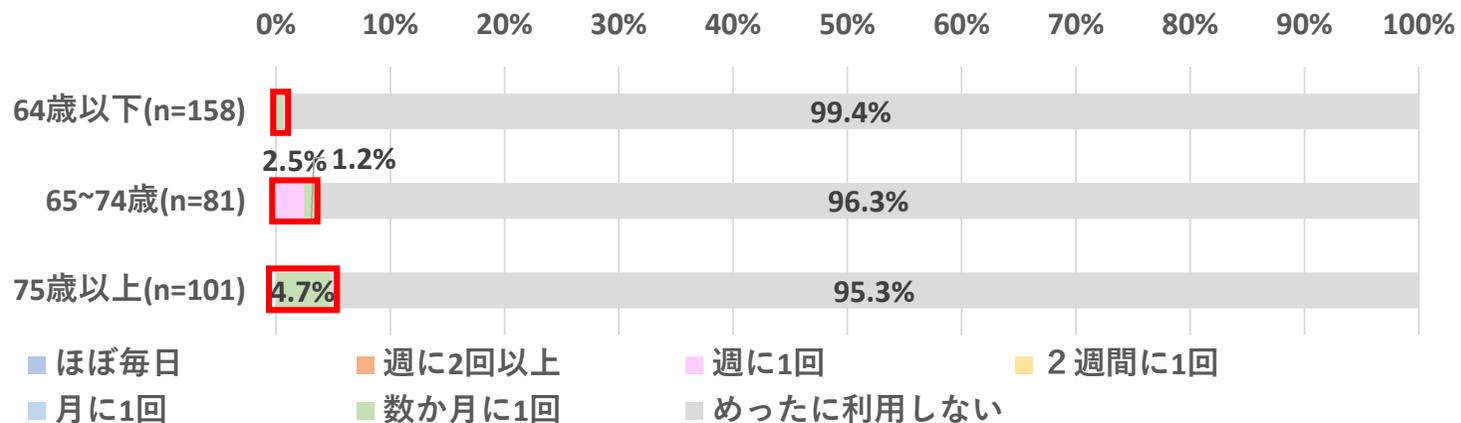
問1②×問13,問14 年齢別路線バス、ハイヤーの利用頻度

年齢別の公共交通の利用頻度を見ると路線バスでは年齢が増すごとに利用回数が増加している。ハイヤーについても、ほぼ使われていない状況ではあるが、高齢になるほど利用が増えている。

路線バス



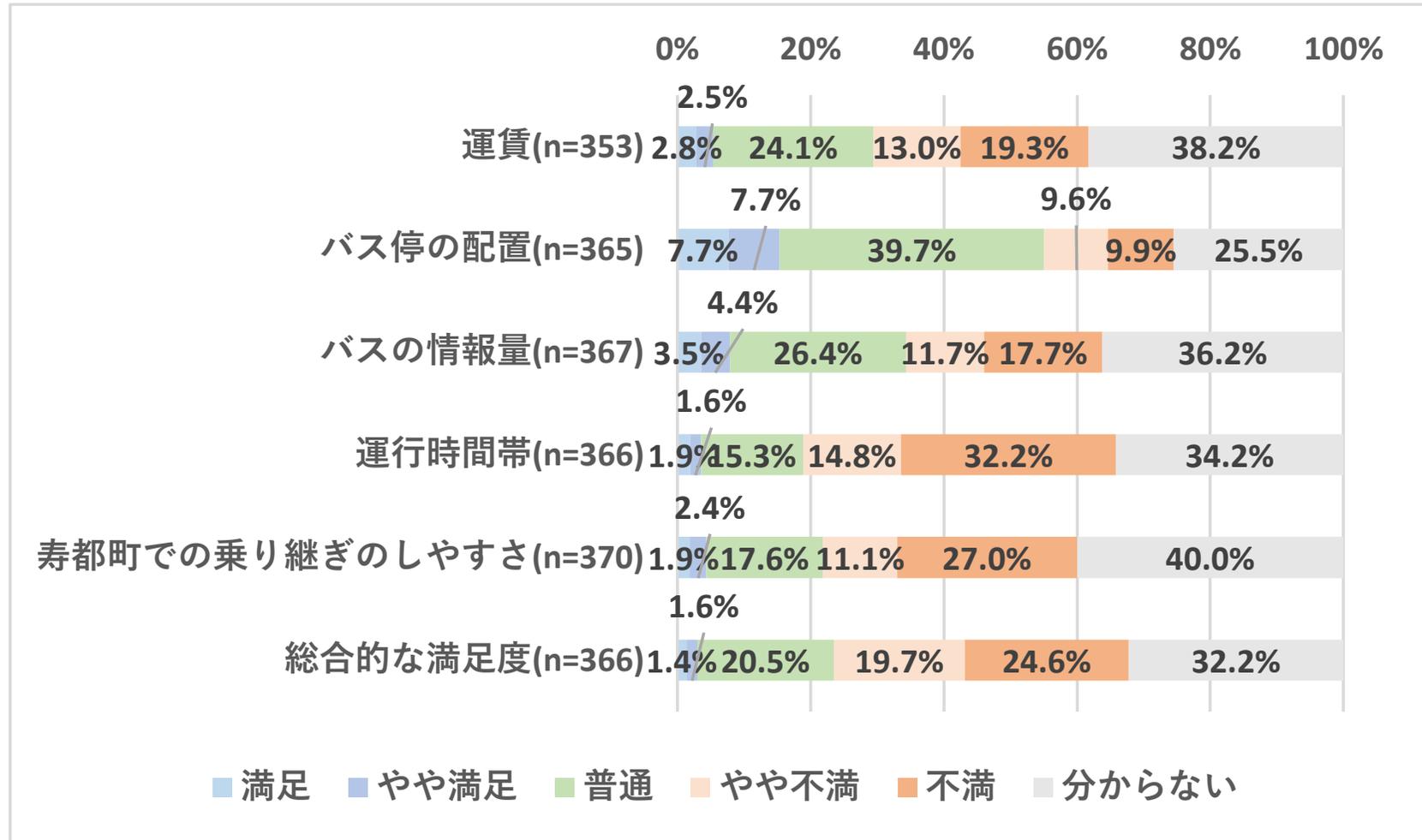
ハイヤー



2. 分析結果／3 公共交通に対する考え方について

問15路線バス（島牧線）の満足度

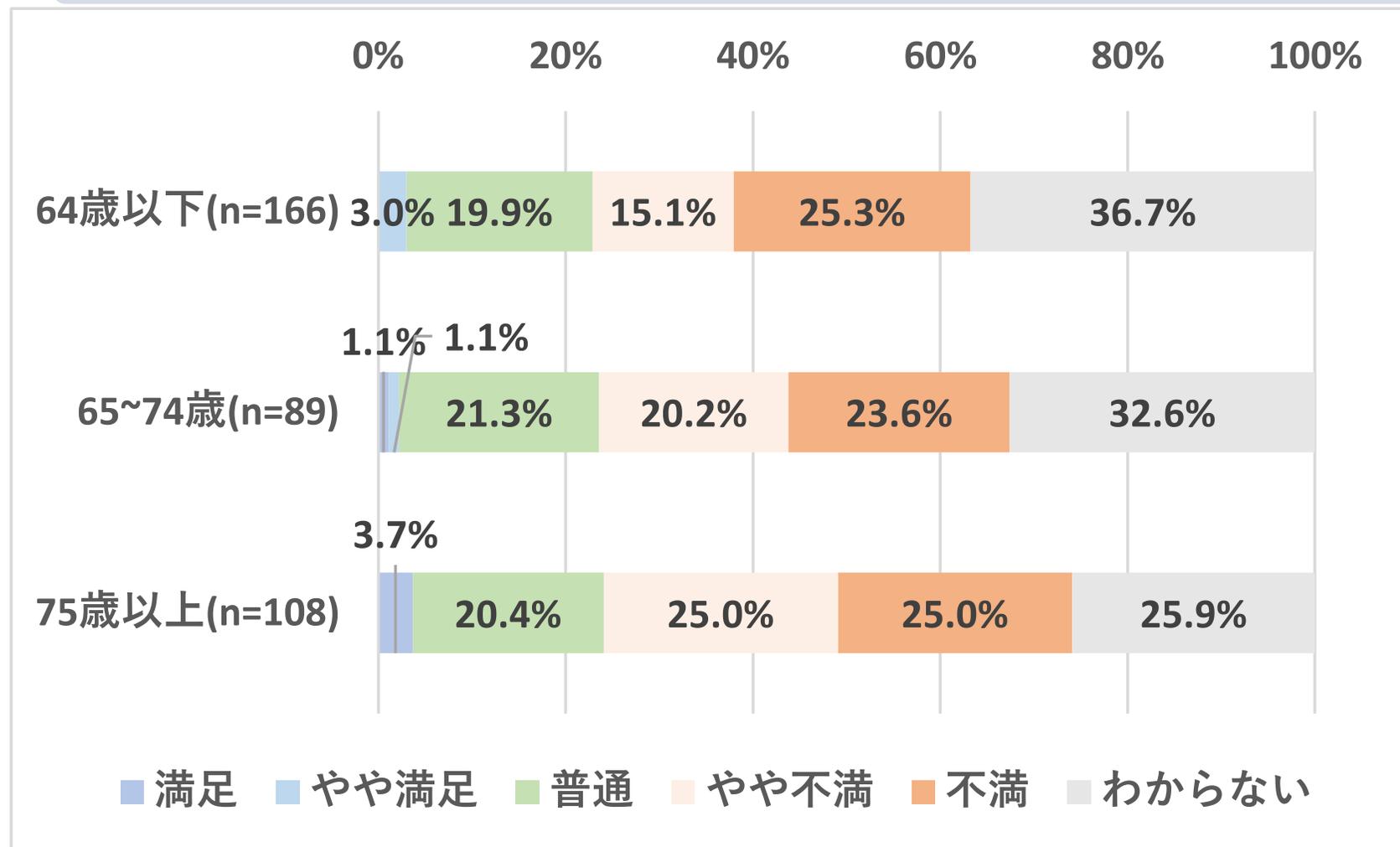
路線バスの満足度について、満足していると答えた割合は全項目を通して低かった。特に運行時間帯、寿都町での乗り継ぎについて不満を持っている人が多い。



2. 分析結果 / 3 公共交通に対する考え方について

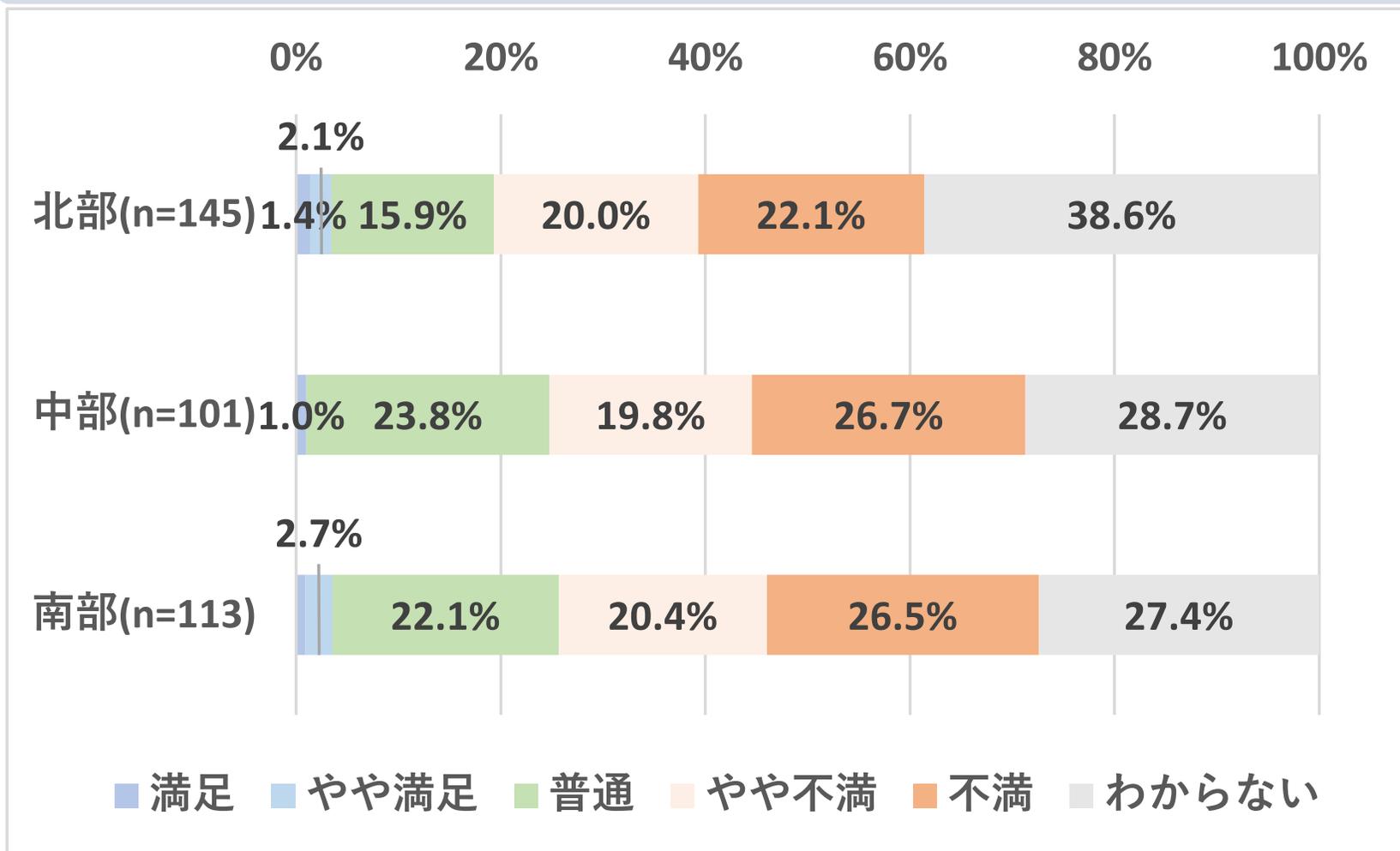
問1②×15 年齢別路線バス（島牧線）の総合的な満足度

年齢別の路線バスの満足度について、わからないと答えた割合が年齢を経るごとに減少しており、年齢を経るごとに路線バスに関心を持っている。



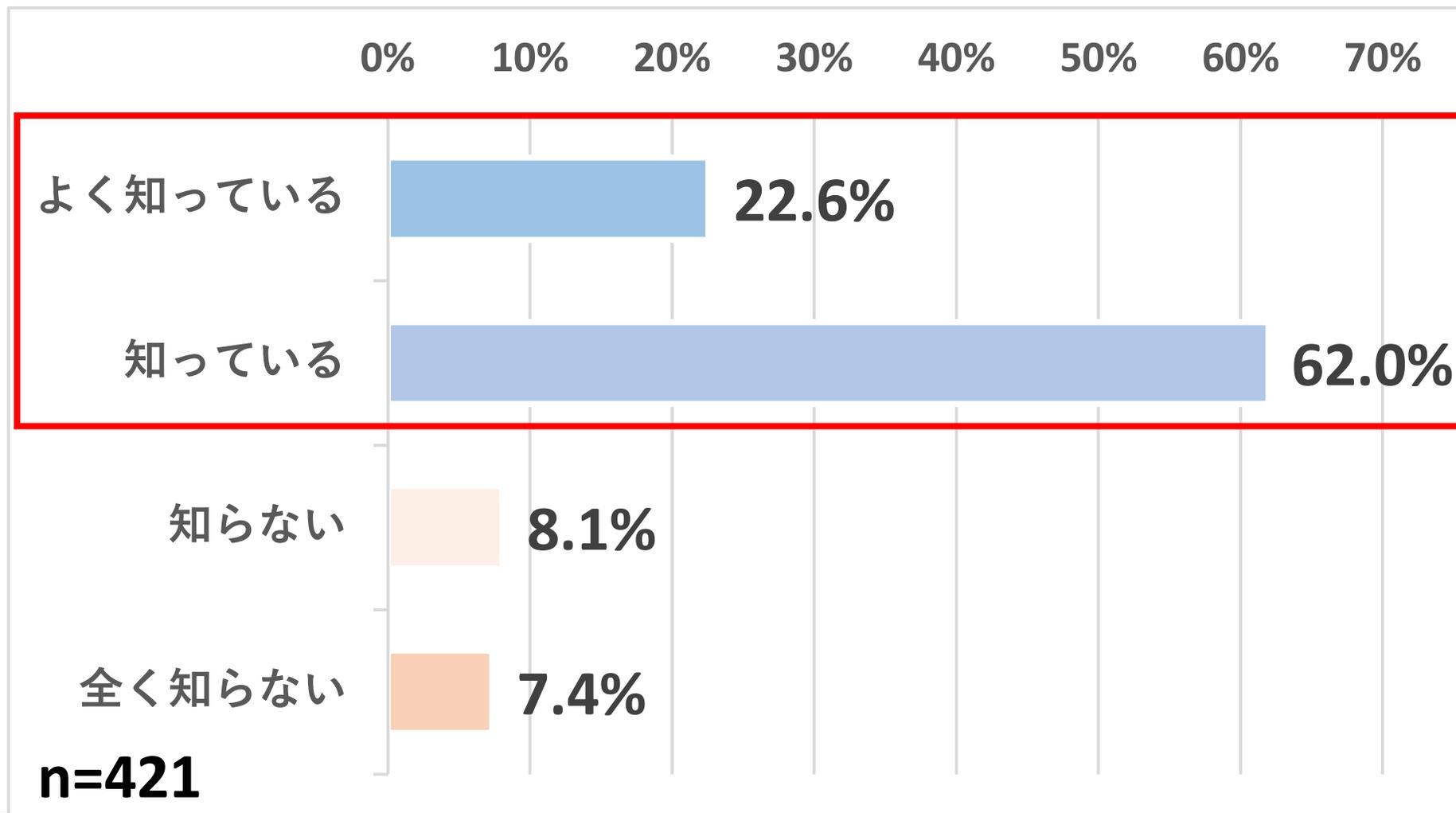
問3×15 居住地別路線バス（島牧線）の総合的な満足度

居住地別の路線バスの満足度について、満足していると答えた割合は全居住地を通して低かった。また、北部地区が分からないと答えた割合が多い。



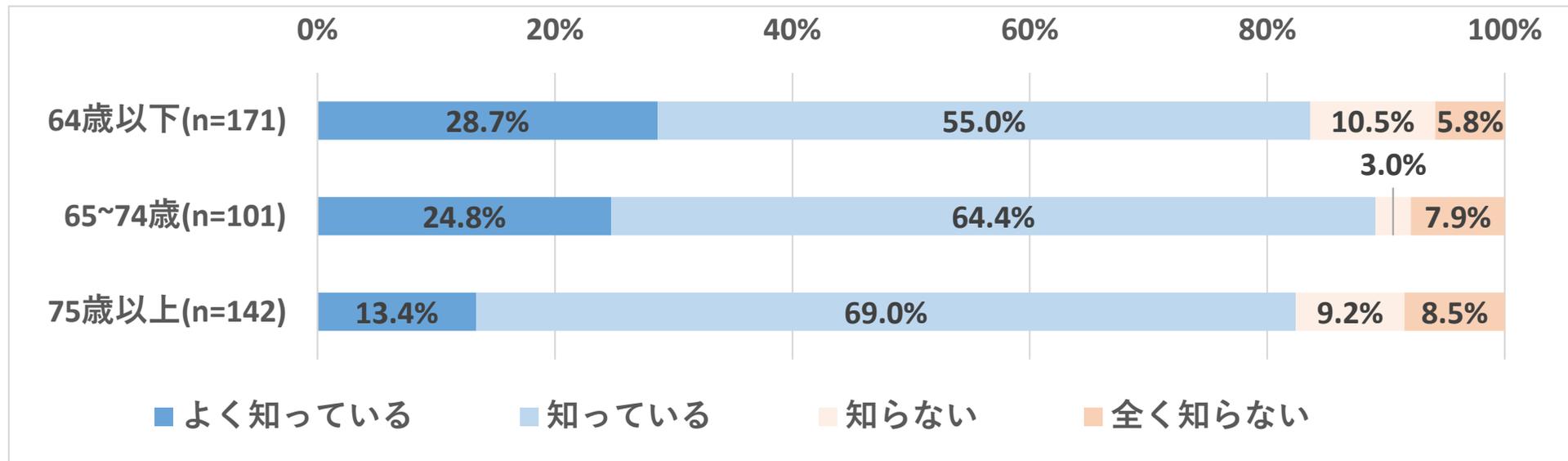
問16①代替バスの認知度

代替バスの認知度について、85%が知っている、よく知っていると答えている。



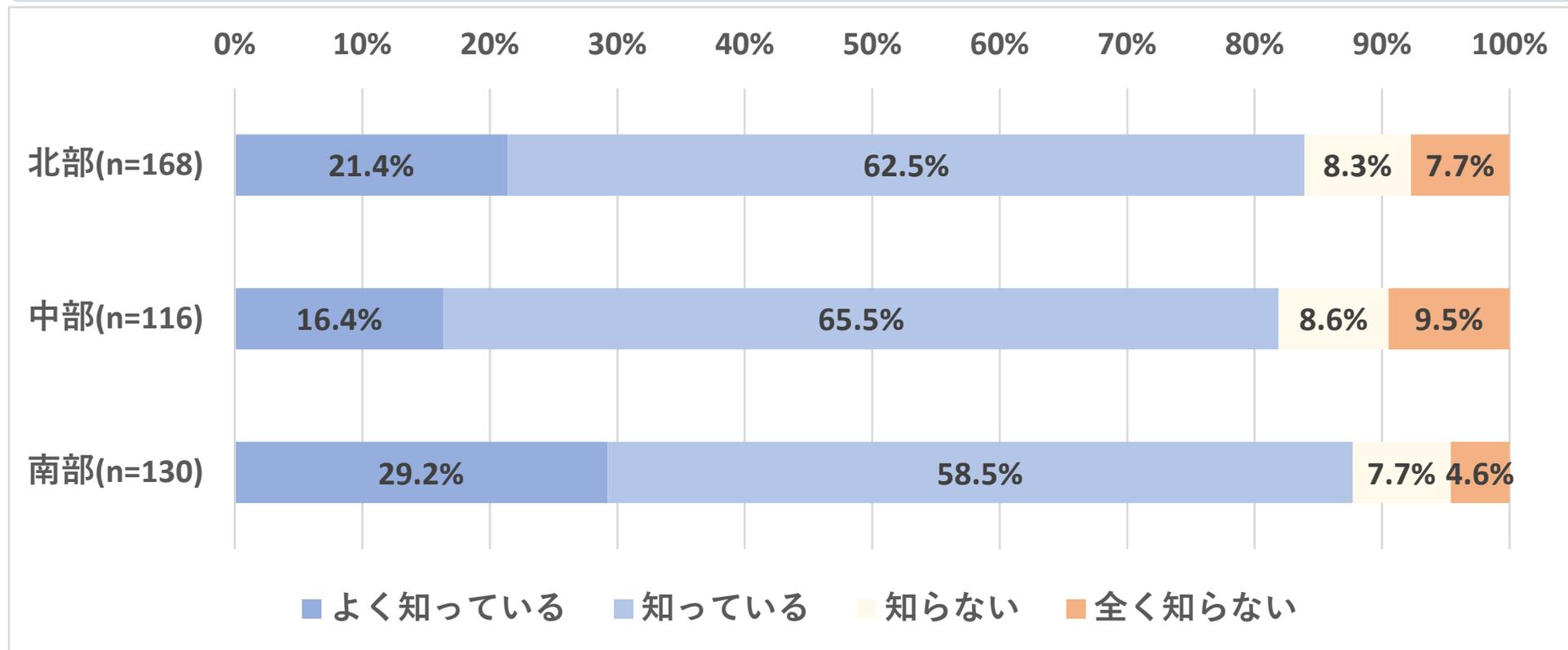
問1②×問16① 年齢別代替バスの認知度

年齢別の代替バスの認知度について、65-74歳の認知度が一番高い結果となった。また、75歳以上が最も知っている割合が低い。



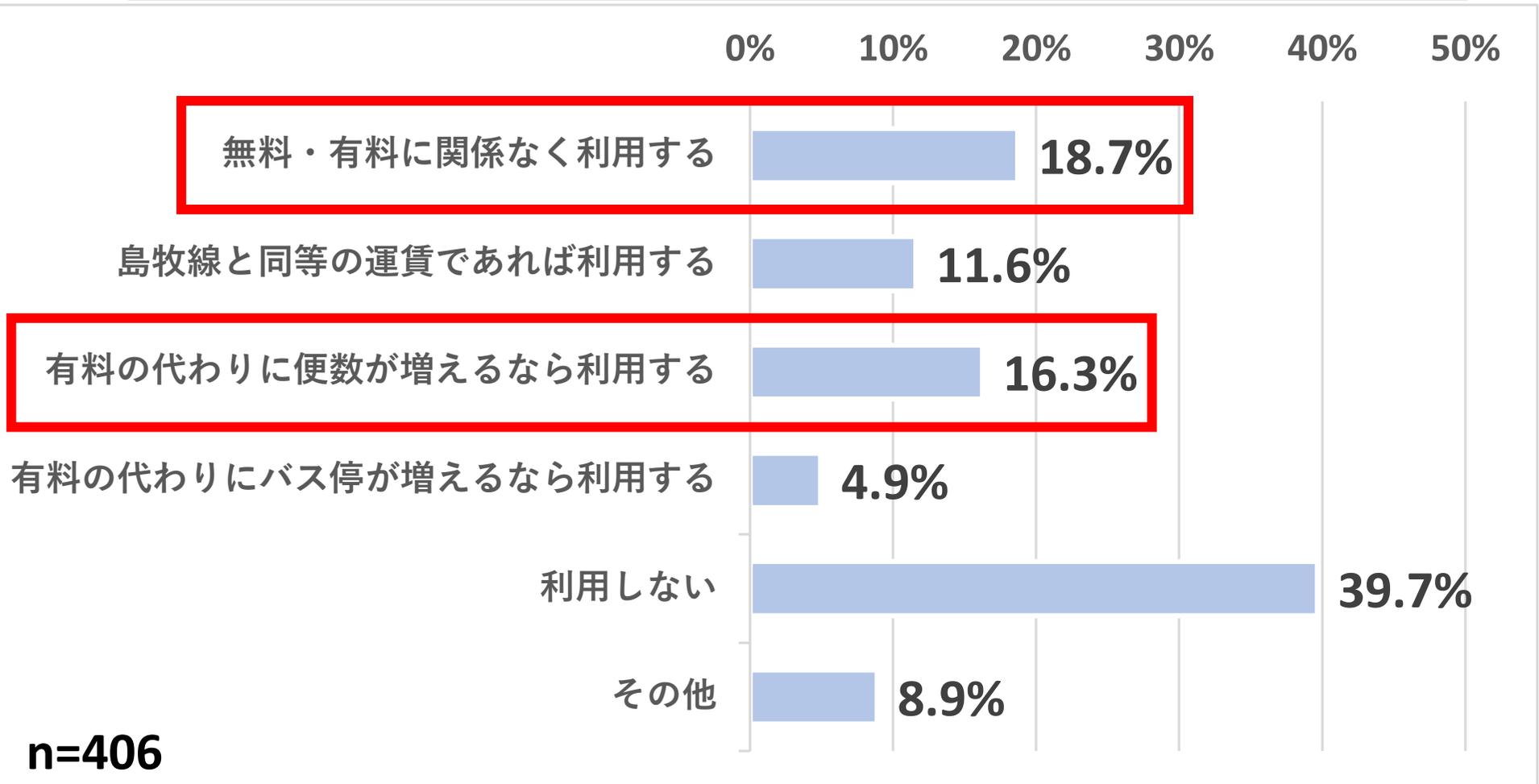
問3×問16① 居住地別代替バスの認知度

居住地別の代替バスの認知度について、中部地区が比較的知っていると感じた割合が低かった。



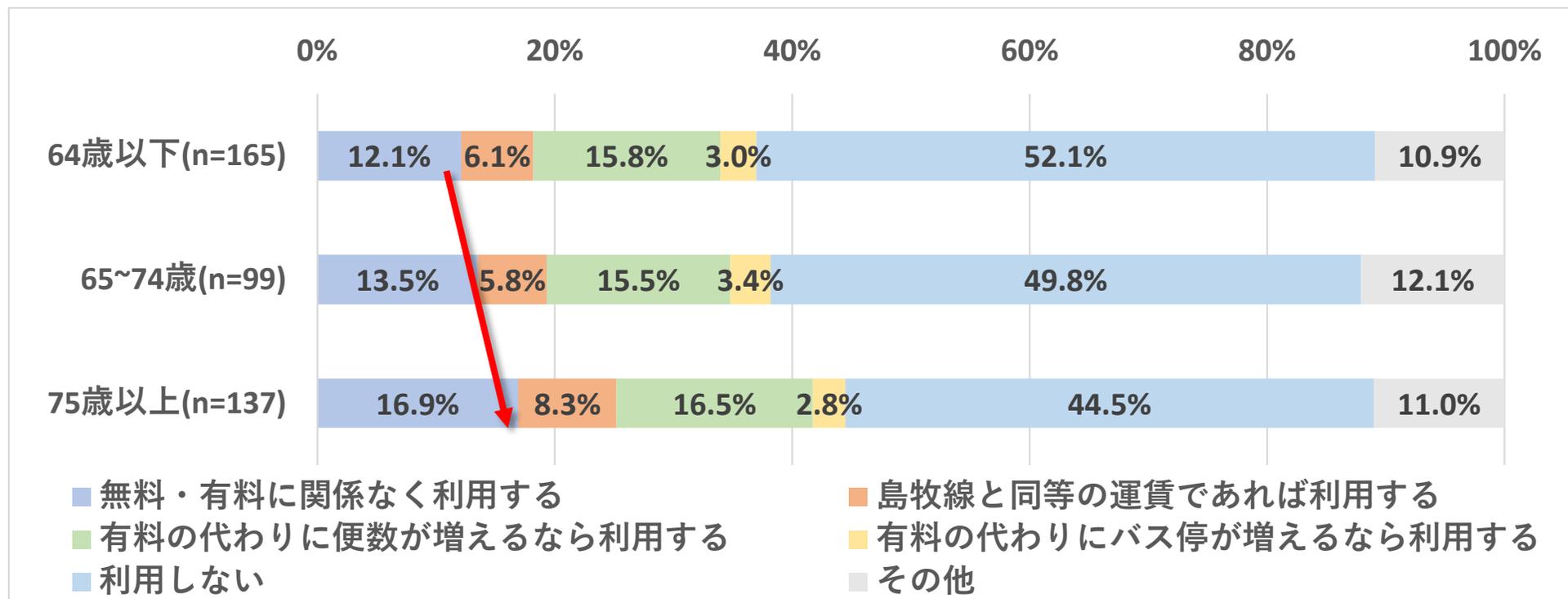
問16②代替バスの有料化について

代替バスの有料化について、有料化すると利用しないという回答が約4割を占めた。しかし、**無料・有料に関係なく利用する、便数が増えるなら利用すると答えた割合もそれぞれ約2割あった。**



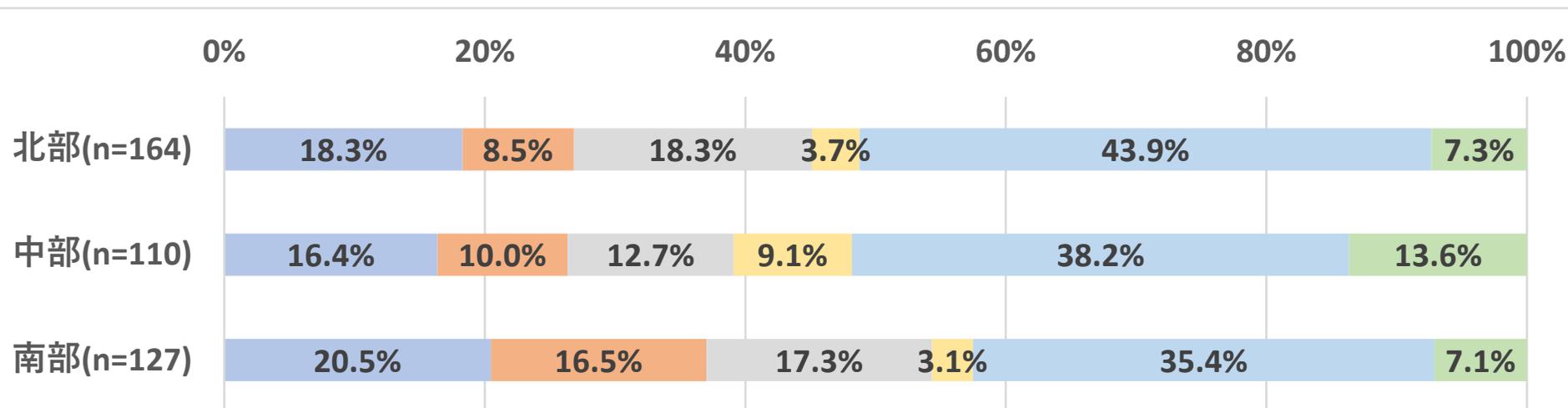
問1②×問16② 年齢別代替バスの有料化について

年齢別に見た代替バスの有料化について、年齢が増すごとに利用しないと答えた割合が減り、**無料・有料に関係なく利用すると答えた割合が増加している。**



問3×問16② 居住地別代替バスの有料化について

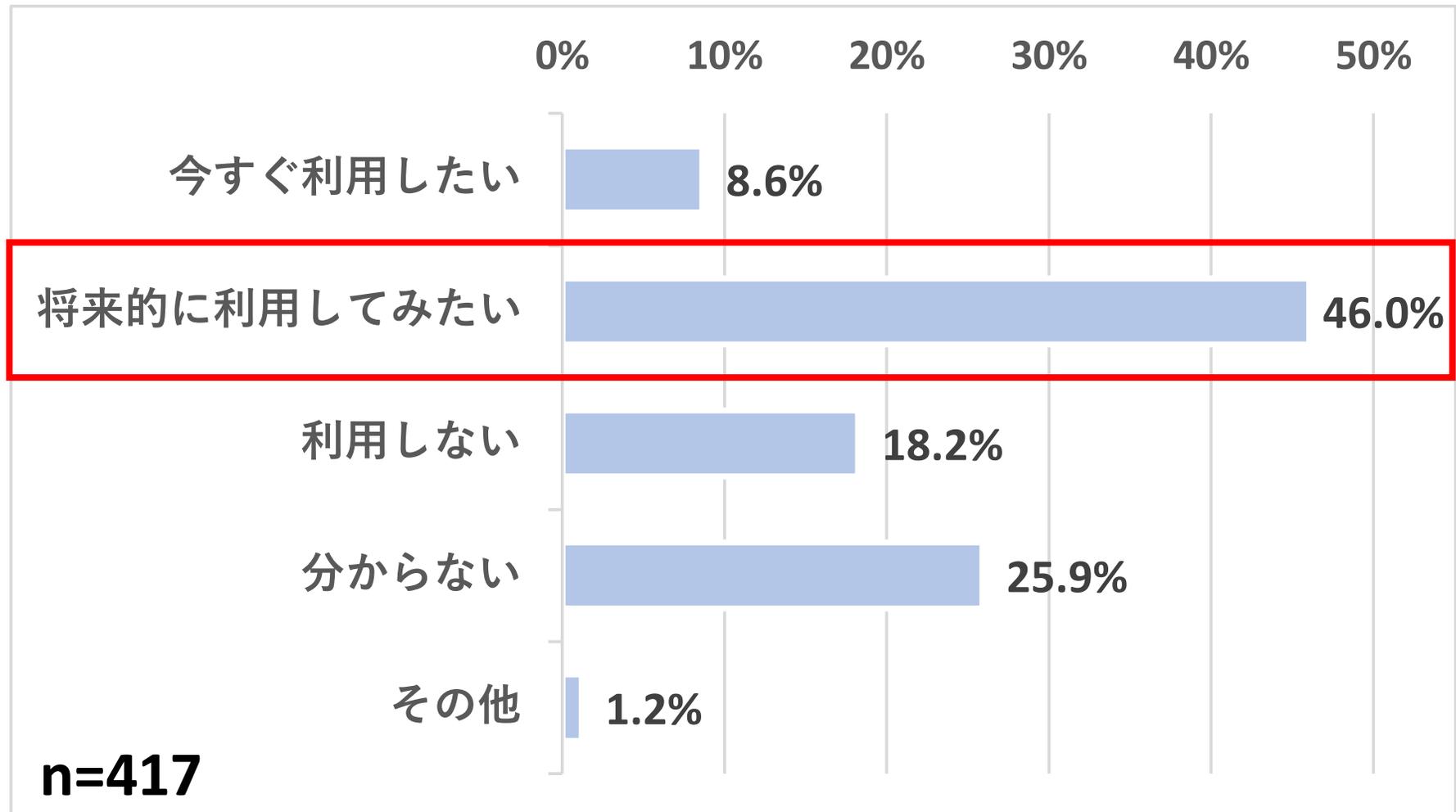
居住地別に見た代替バスの有料化について、どの地区でも利用しないと答えた割合が最も多い。また、南部地区では利用すると答えた割合が比較的高い。



- 無料・有料に関係なく利用する
- 島牧線と同等の運賃であれば利用する
- 有料の代わりに便数が増えるなら利用する
- 有料の代わりにバス停が増えるなら利用する
- 利用しない
- その他

問16③代替バスの予約運行について

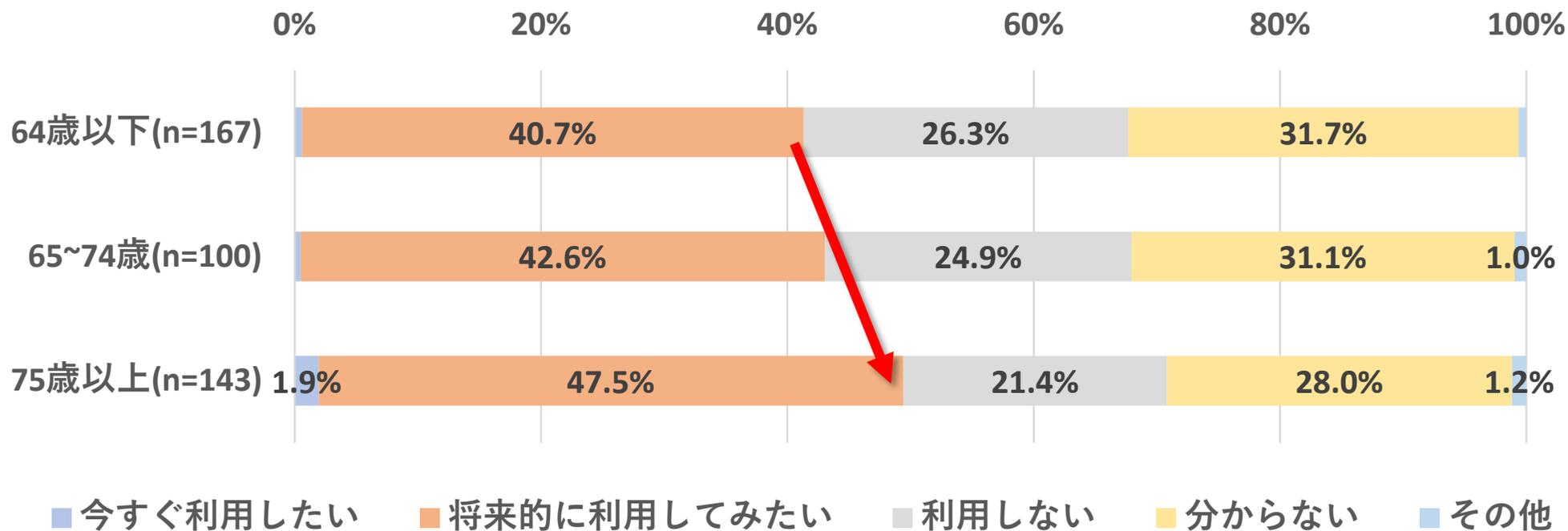
代替バスの予約運行について、今すぐ利用してみたいという回答は8.6%であったが、**将来的に利用してみたいと答えた割合は46.0%**を占めた。



2. 分析結果 / 3 公共交通に対する考え方について

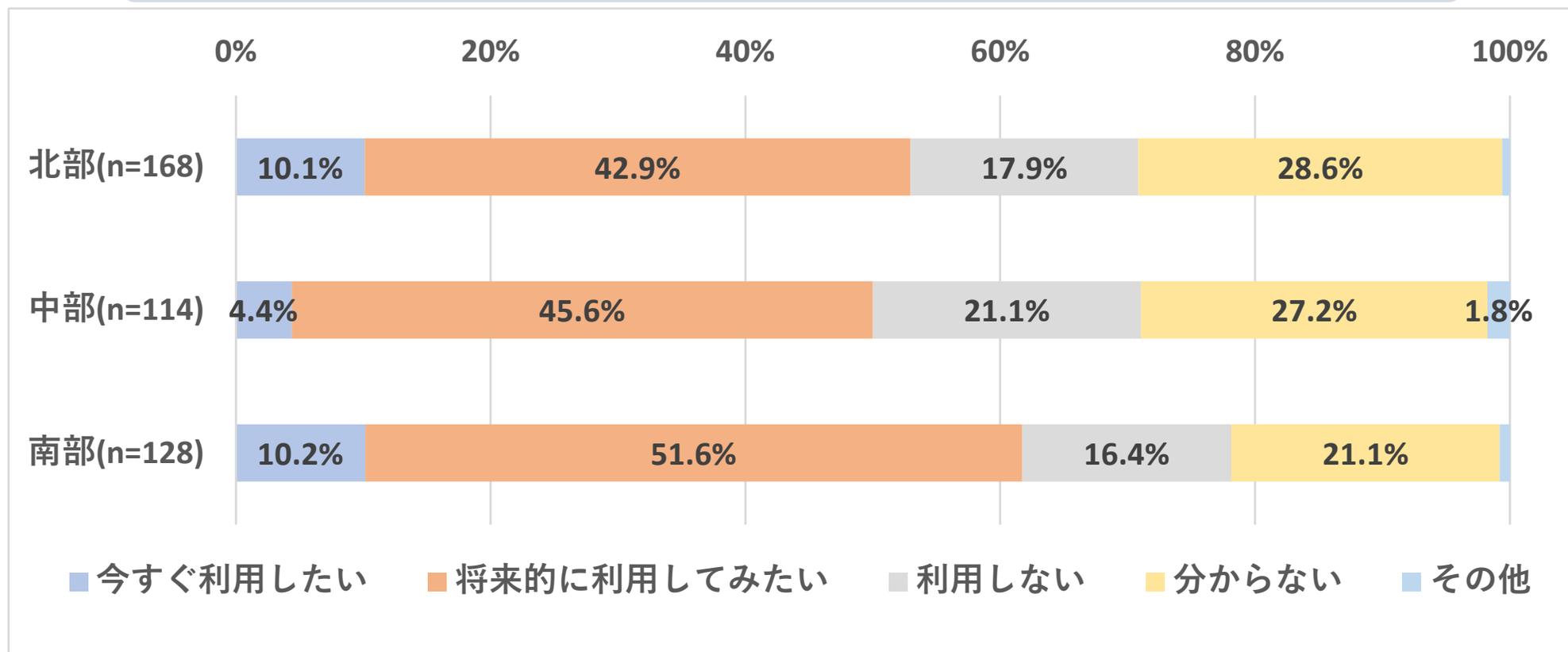
問1②×問16③ 年齢別代替バスの予約運行について

年齢別の代替バスの予約運行について、年齢を増すごとに今すぐ利用したい、将来的に利用したいの割合が増加した。



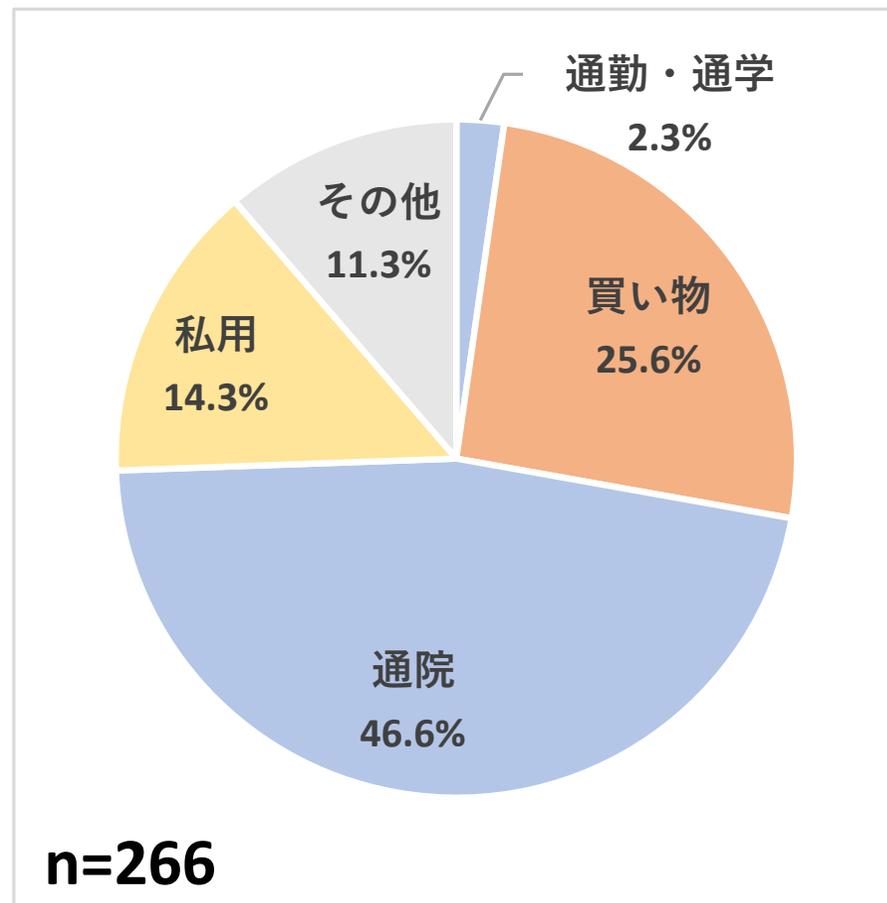
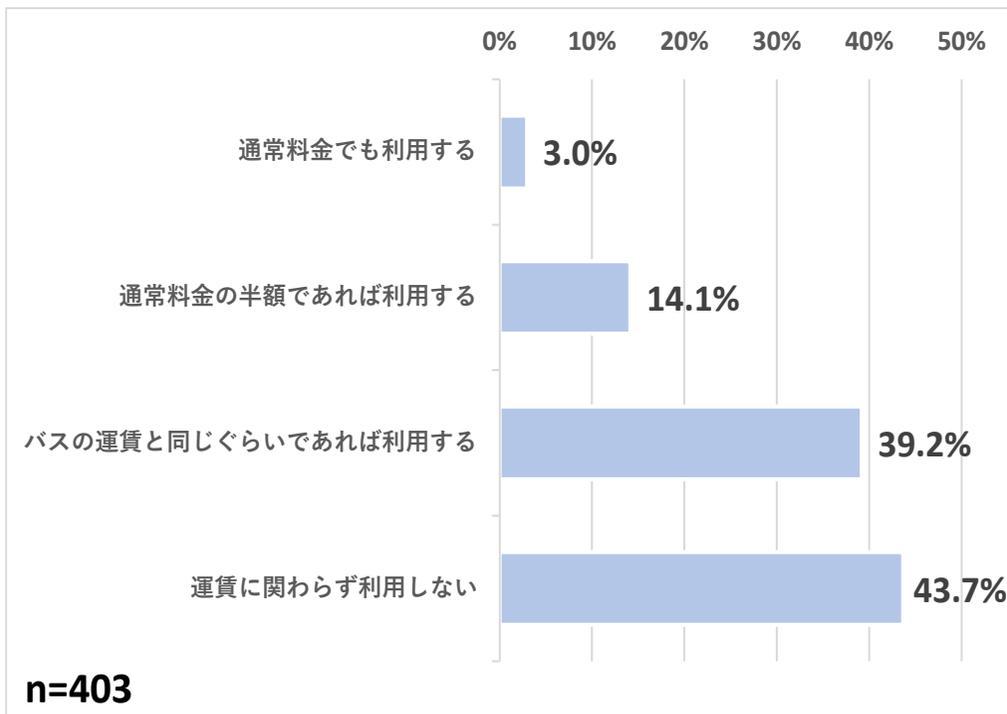
問3×問16③ 居住地別代替バスの予約運行について

居住地別の代替バスの予約運行について、中部地区では将来的に利用したいという割合が高く、北部地区、南部地区は今すぐ利用したいと答えている割合が比較的高い。



問17①,② 将来のハイヤーの利用について

将来的なハイヤーの利用について、バスの運賃と同じくらいであれば利用するが約4割を占め、利用目的としては通院が46.6%、買い物が25.6%を占めた。



2. 分析結果／島牧村の公共交通に対する意見

自由記述

